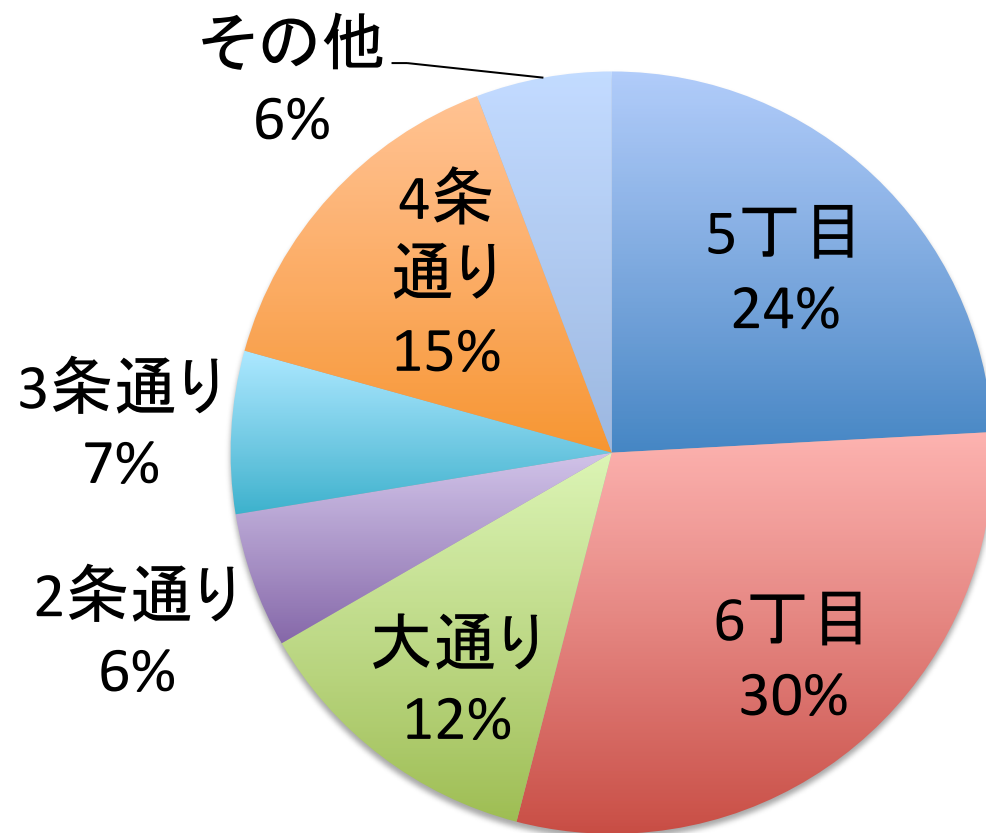


1-4. 経営者動向調査

経営者動向調査の概要

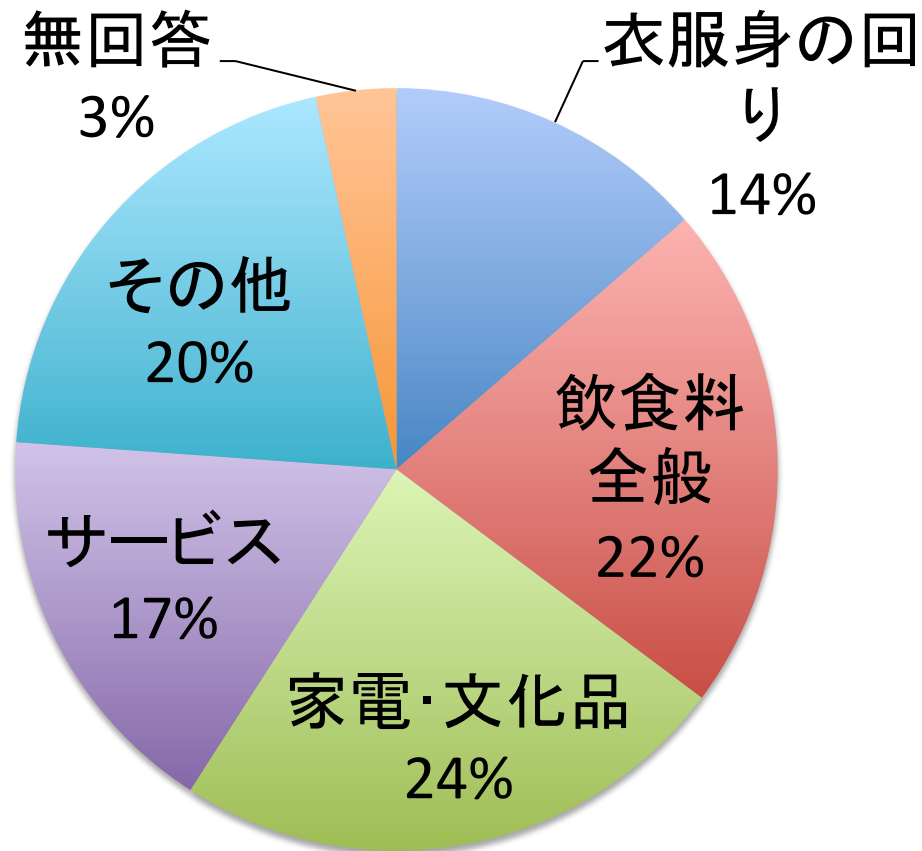
- 目的:
 - 中心商店街の商店経営者の経営動向、将来の方向性などを把握する
- 調査方法: 訪問配布
- 調査期間: 2014年7月
- 回答数: 88枚(対象者100%)

回答者の立地場所



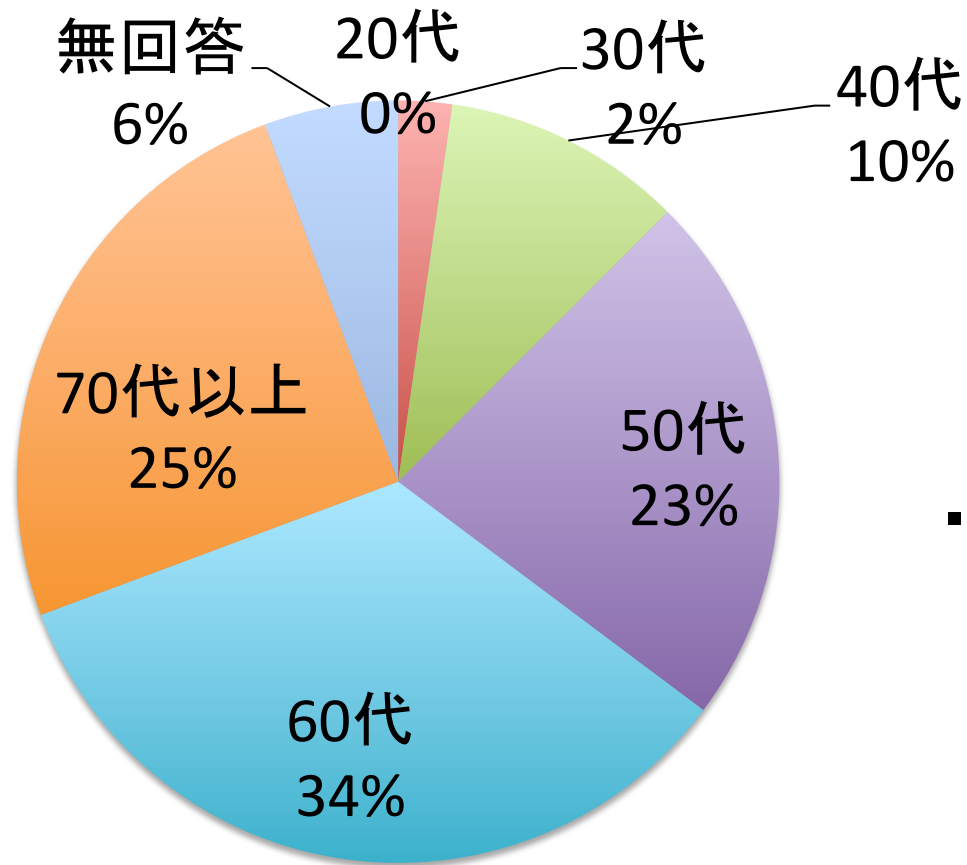
回答数 88

回答者の業種



回答数 88

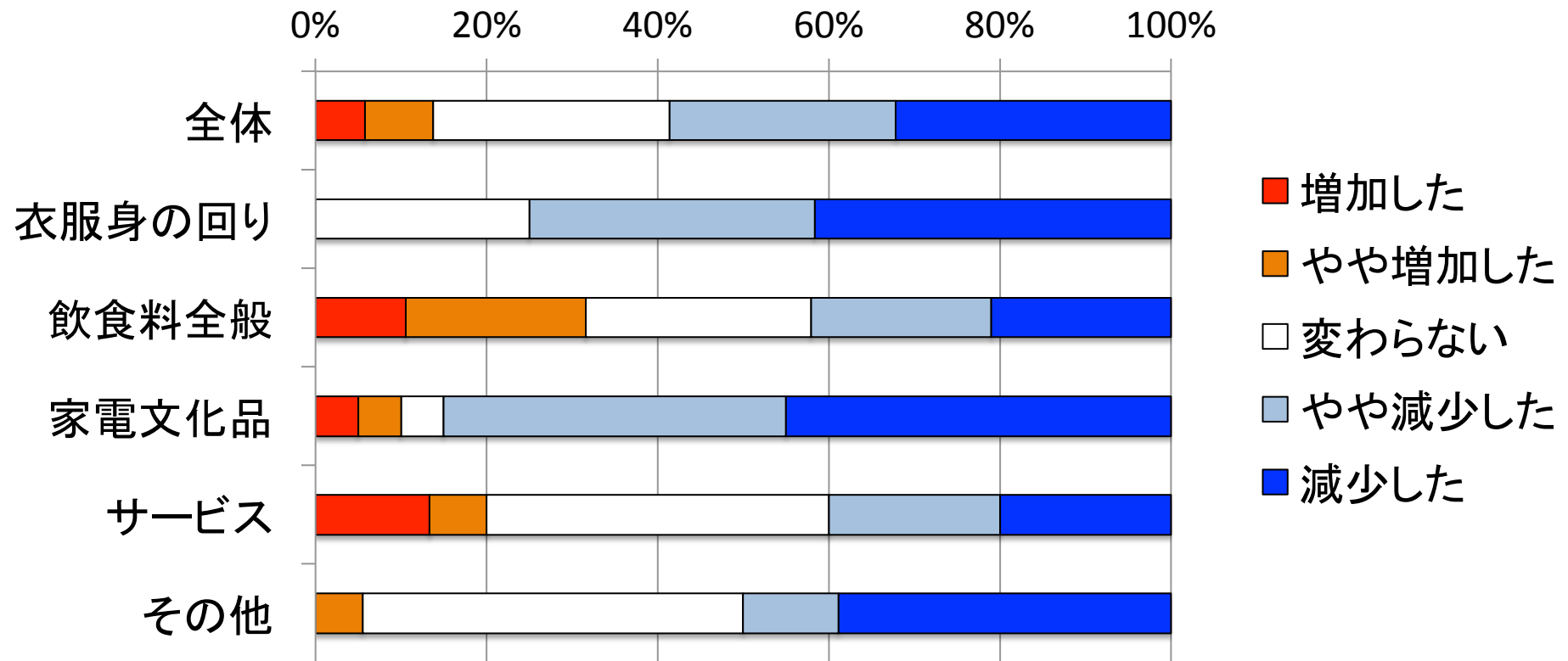
回答者の年齢



・60代以上で約6割

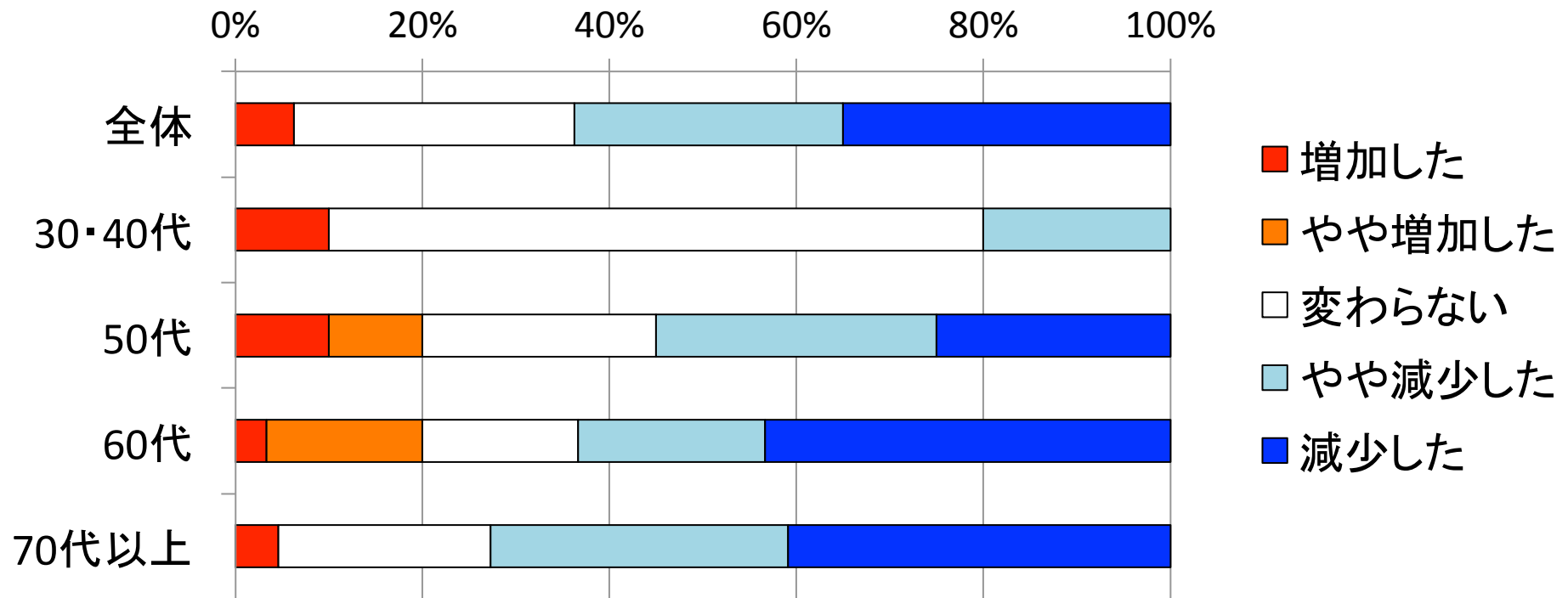
回答数 88

最近3力年の売上状況



「飲食料全般」「サービス」で増加が多い
「衣服身の回り」「家電文化品」で減少が多い

最近3力年の売上状況（年齢別）

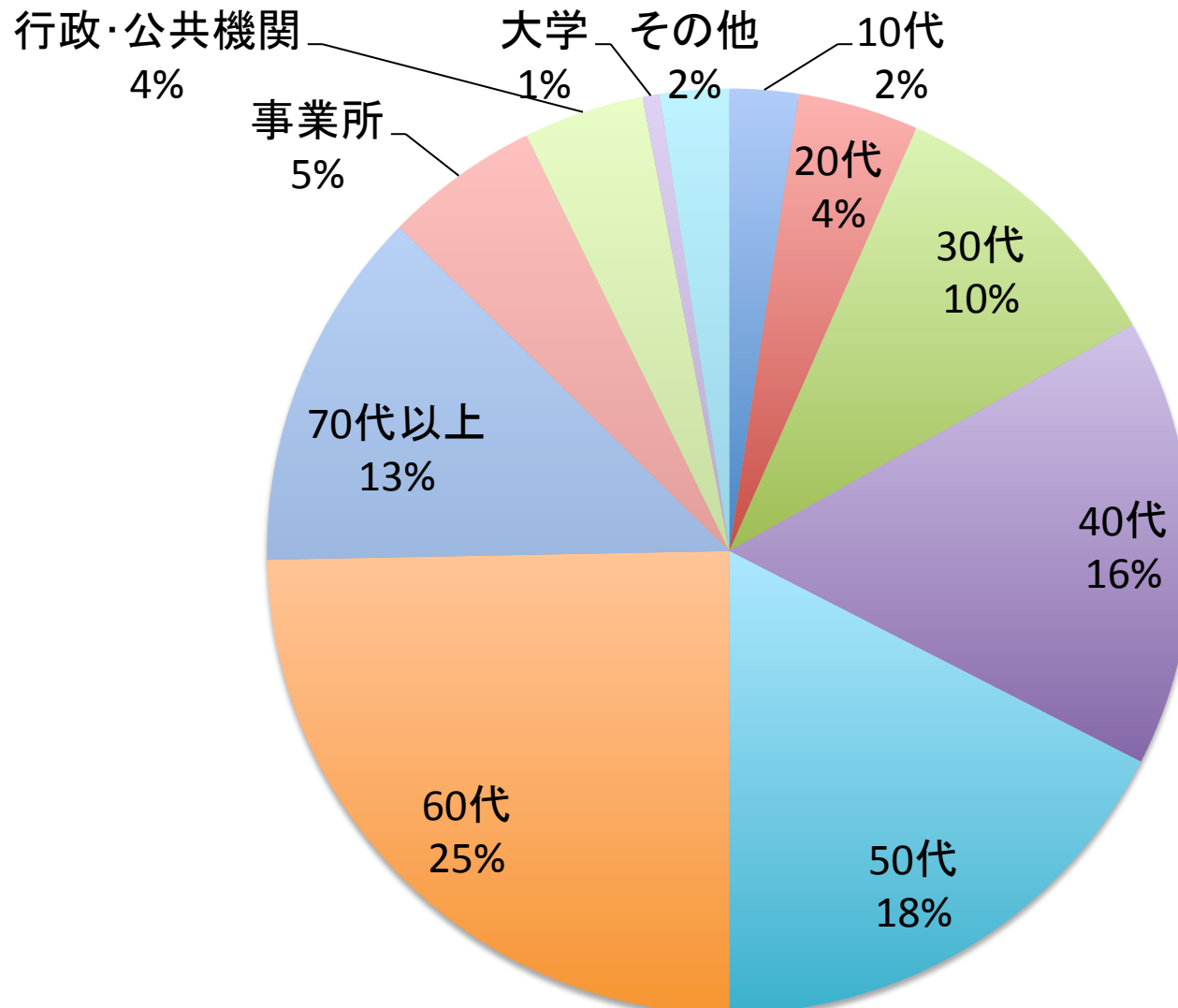


30・40代は減少が少ない

50代・60代で増加が多い、ただし減少も多い

70代は減少が多い

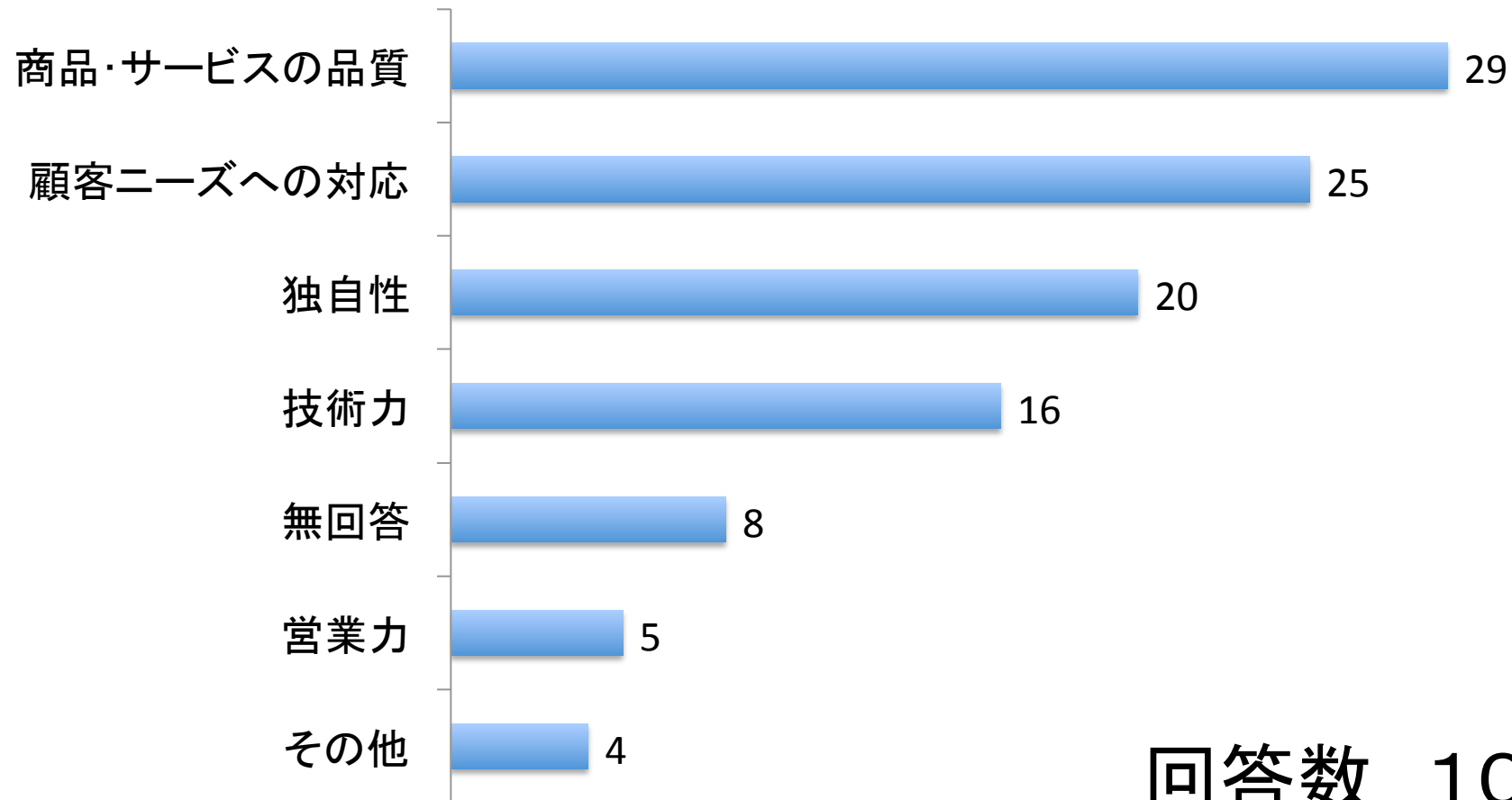
主な客層(2つ回答)



- ・個人客で約9割
- ・50代以上で7割弱
- ・40代以下で約3割

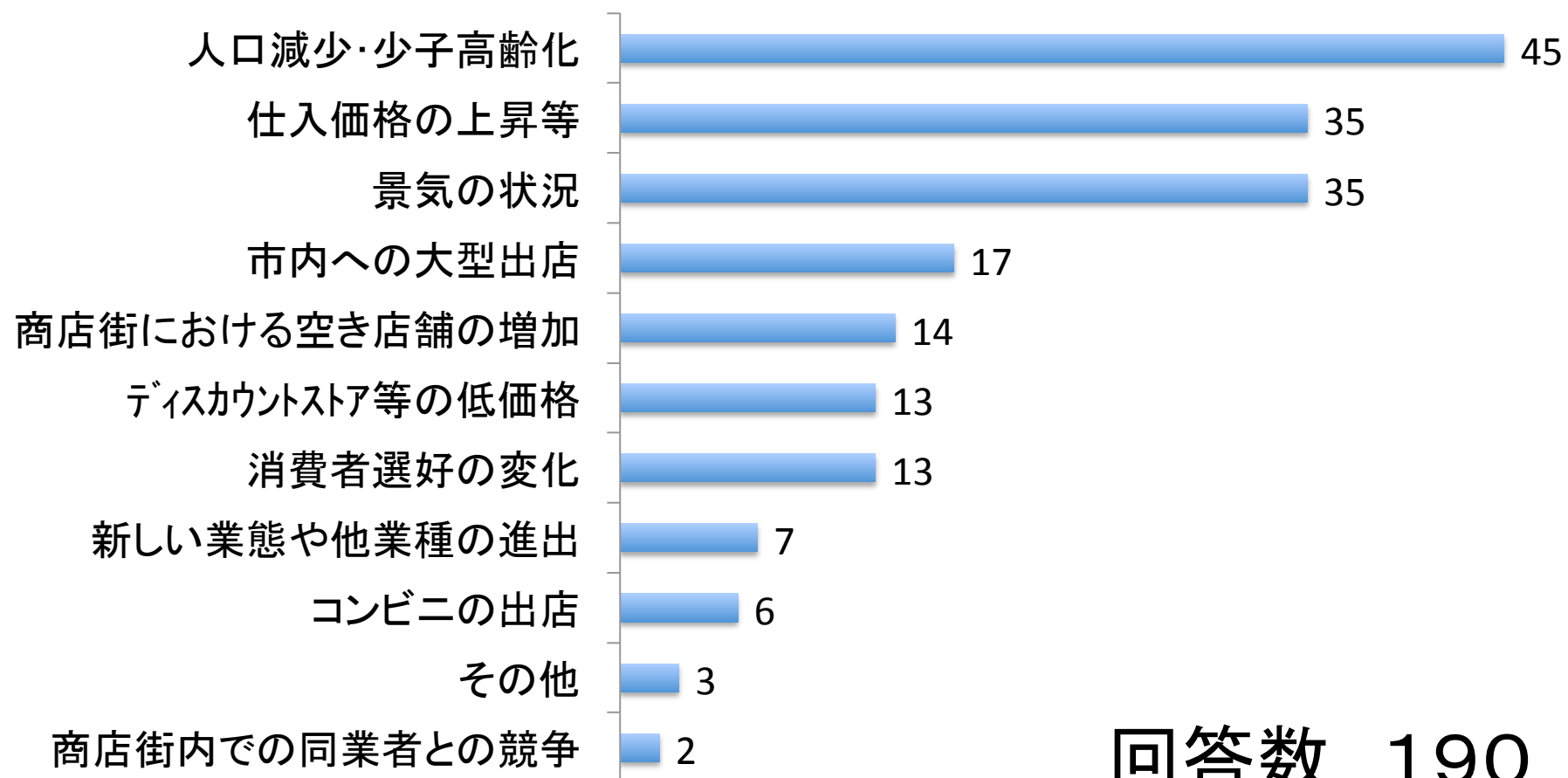
回答数 188
66

自社の強み（複数回答）



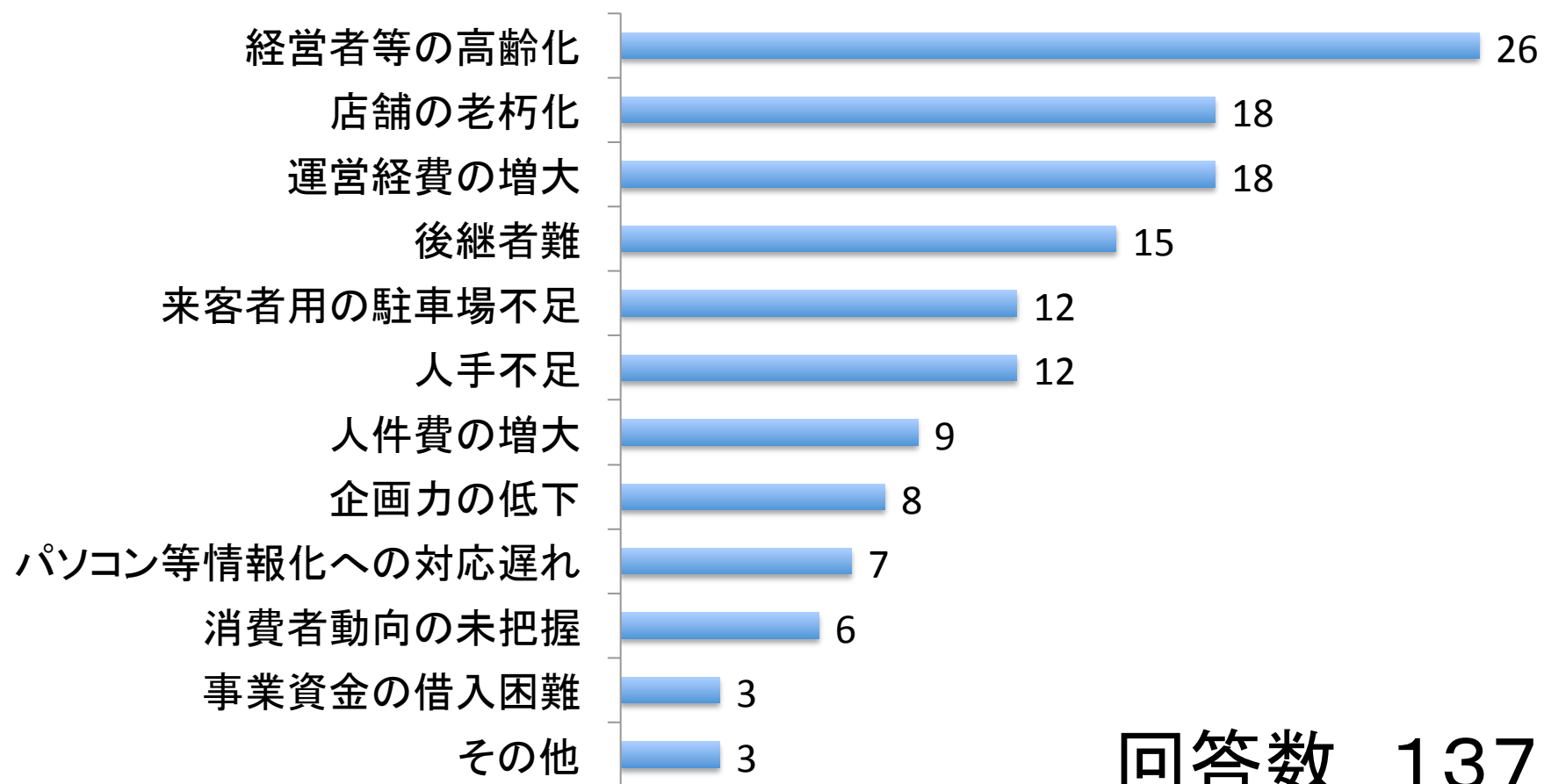
回答数 107

経営上の課題【外部】(複数回答)

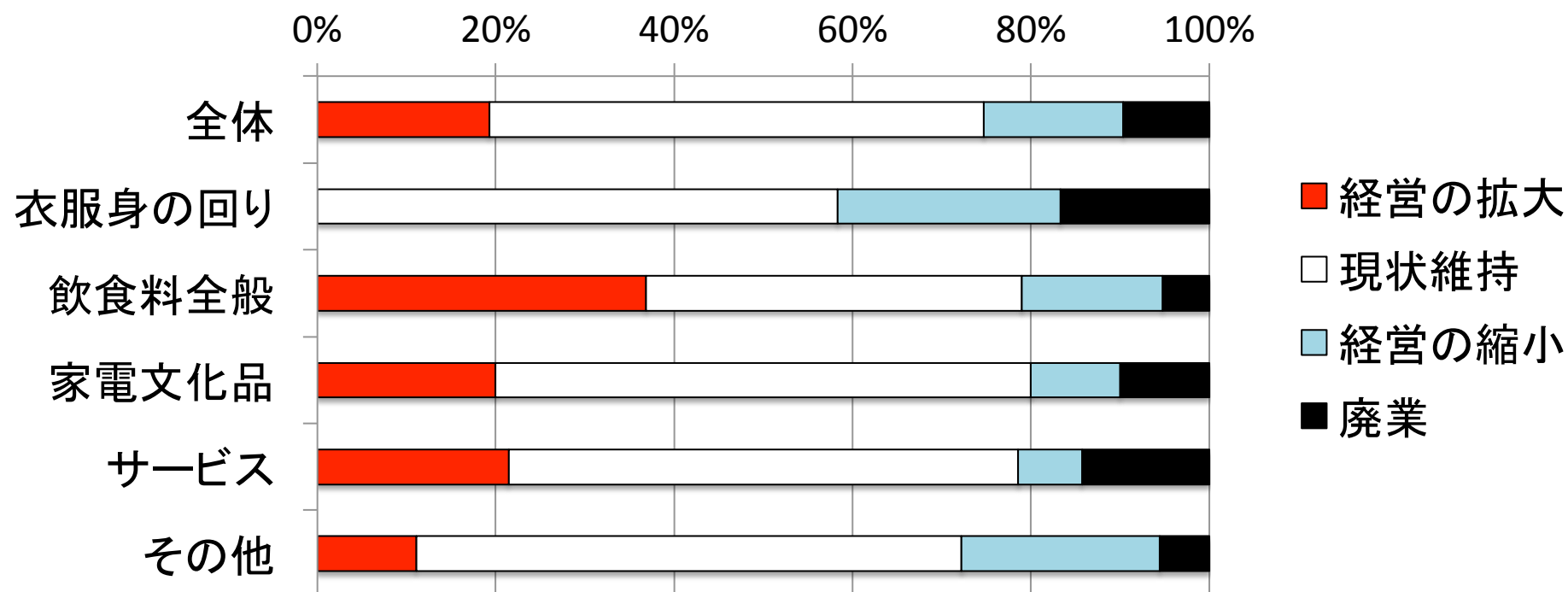


回答数 190

経営上の課題【内部】(複数回答)



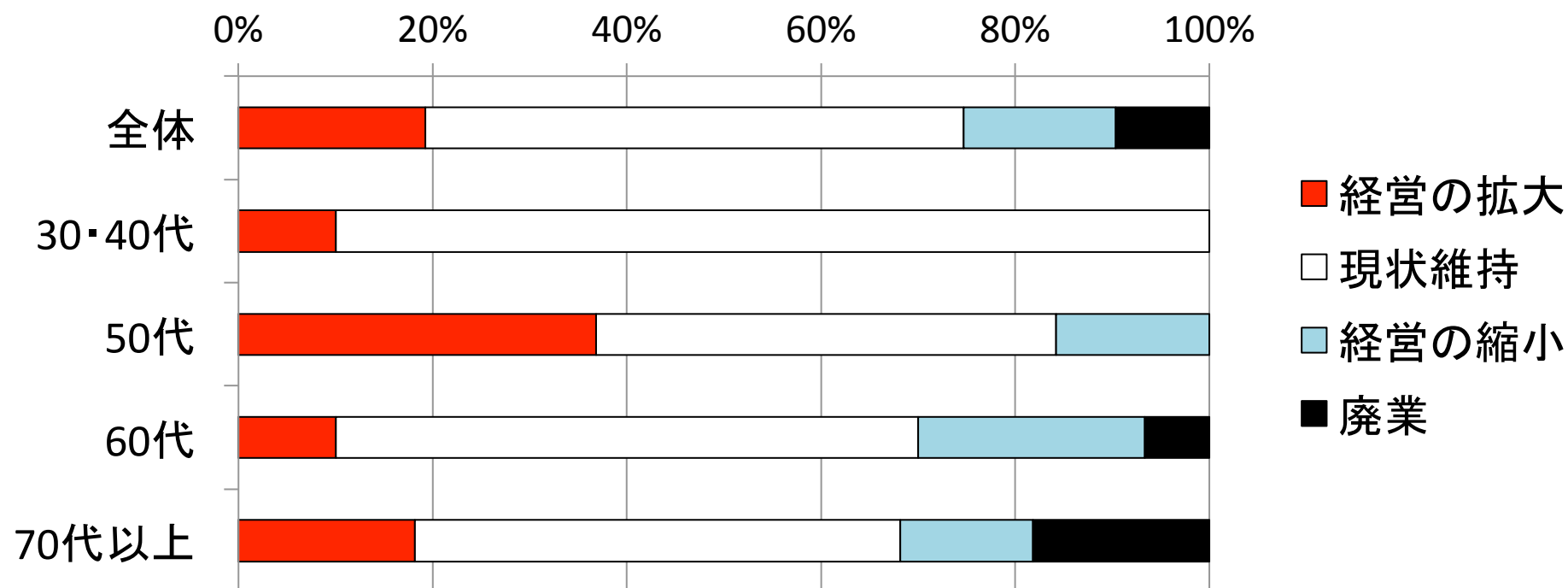
今後の経営の方向性(業種別)



「飲食料全般」で経営拡大が多い

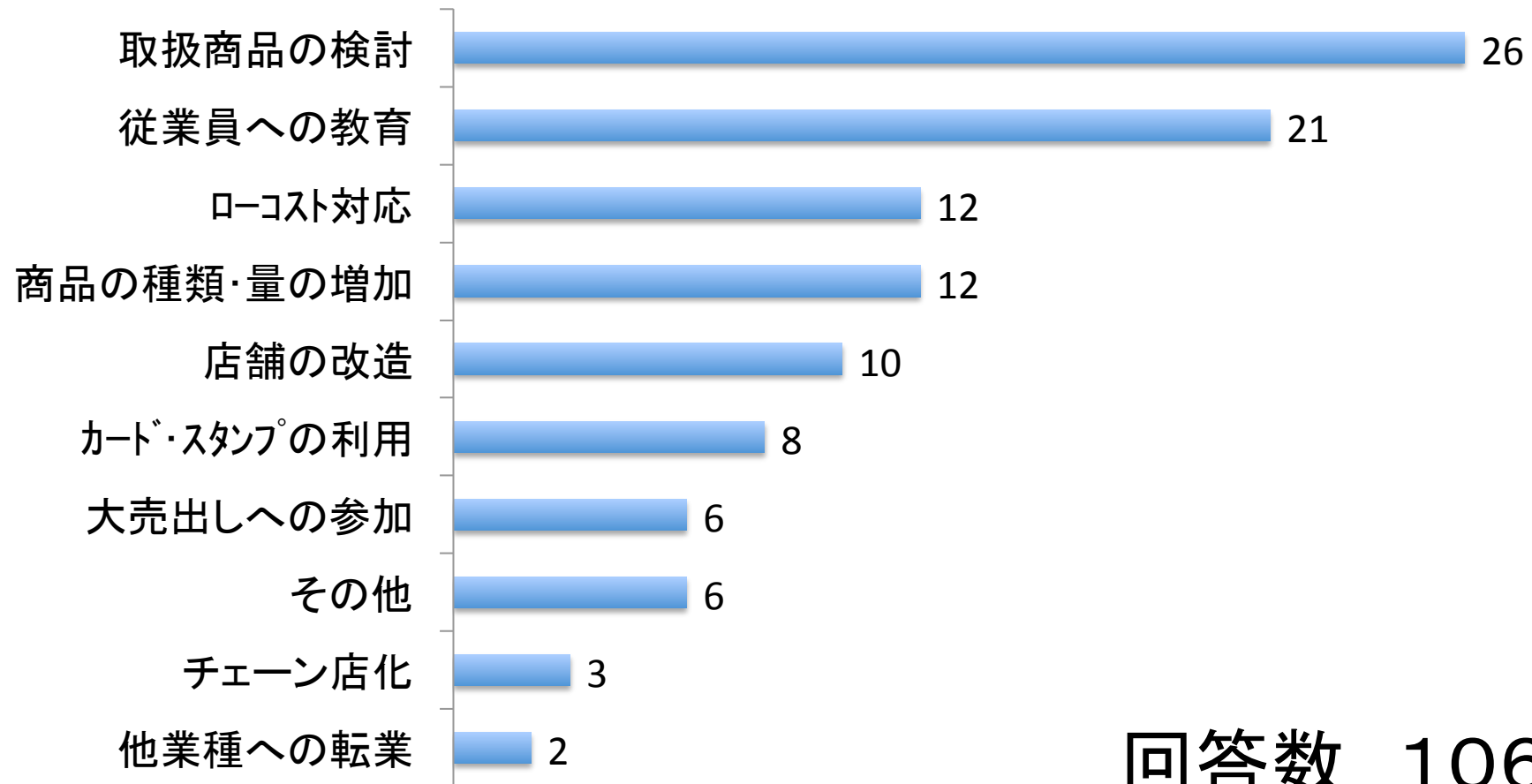
「衣服身の回り」で経営縮小・廃業が多い

今後の経営の方向性(年齢別)



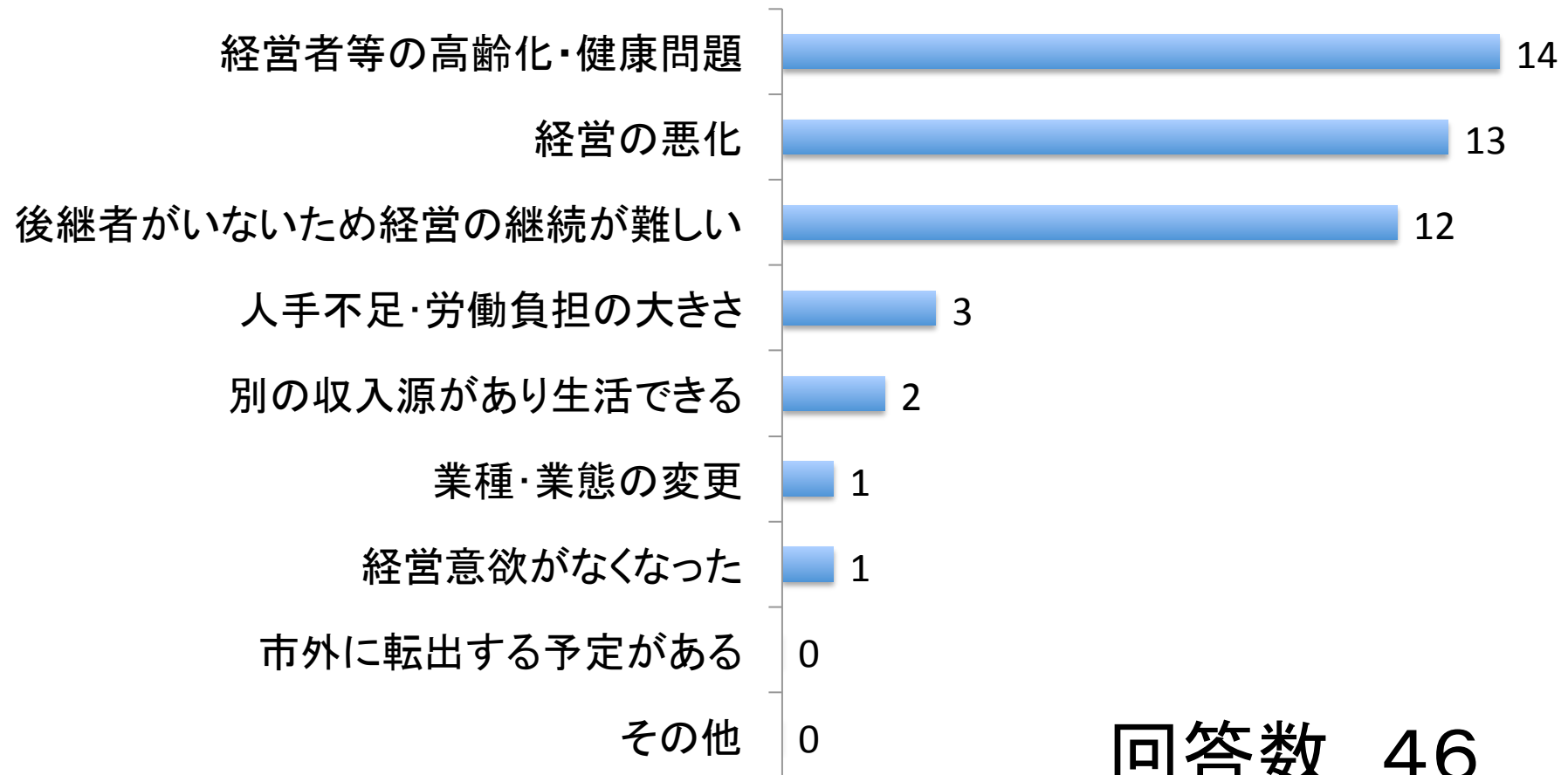
経営拡大意向は50代が最も多い
30・40代は現状維持が9割
廃業以降は60代以上のみ

「現状維持」「経営の拡大」層、強化策

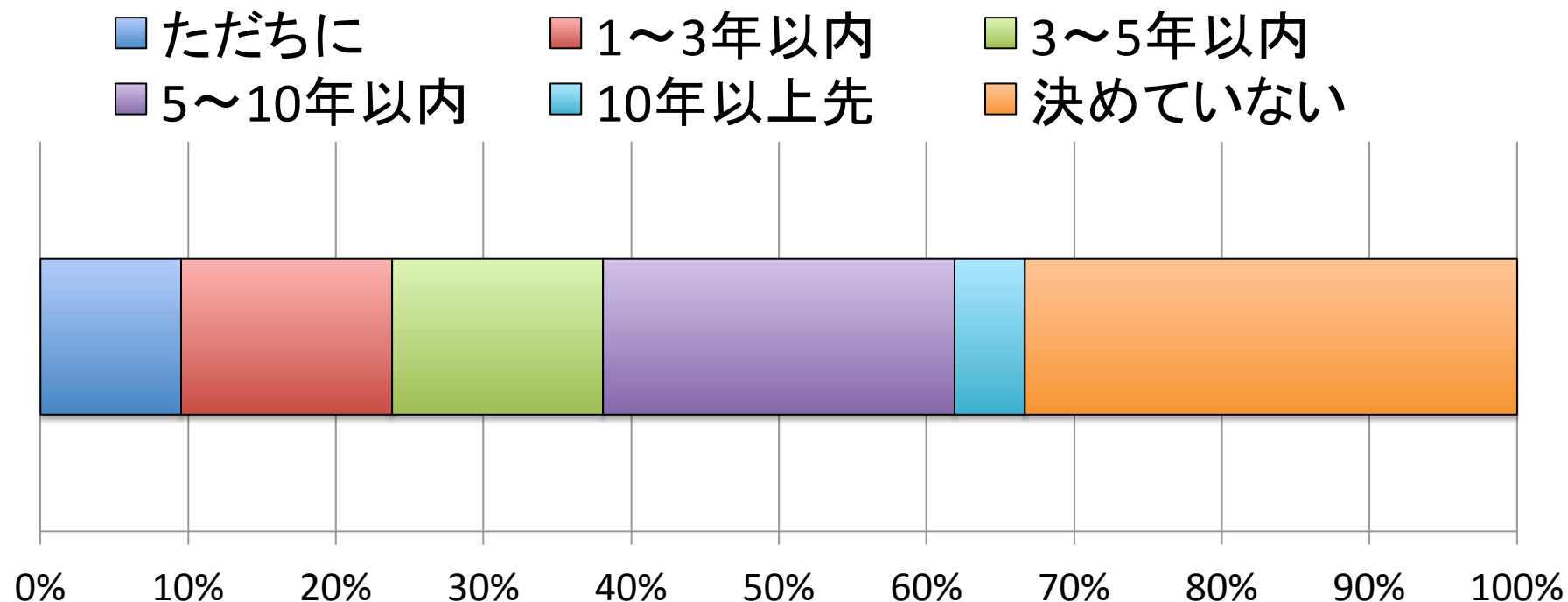


回答数 106

「経営縮小」「廃業」理由



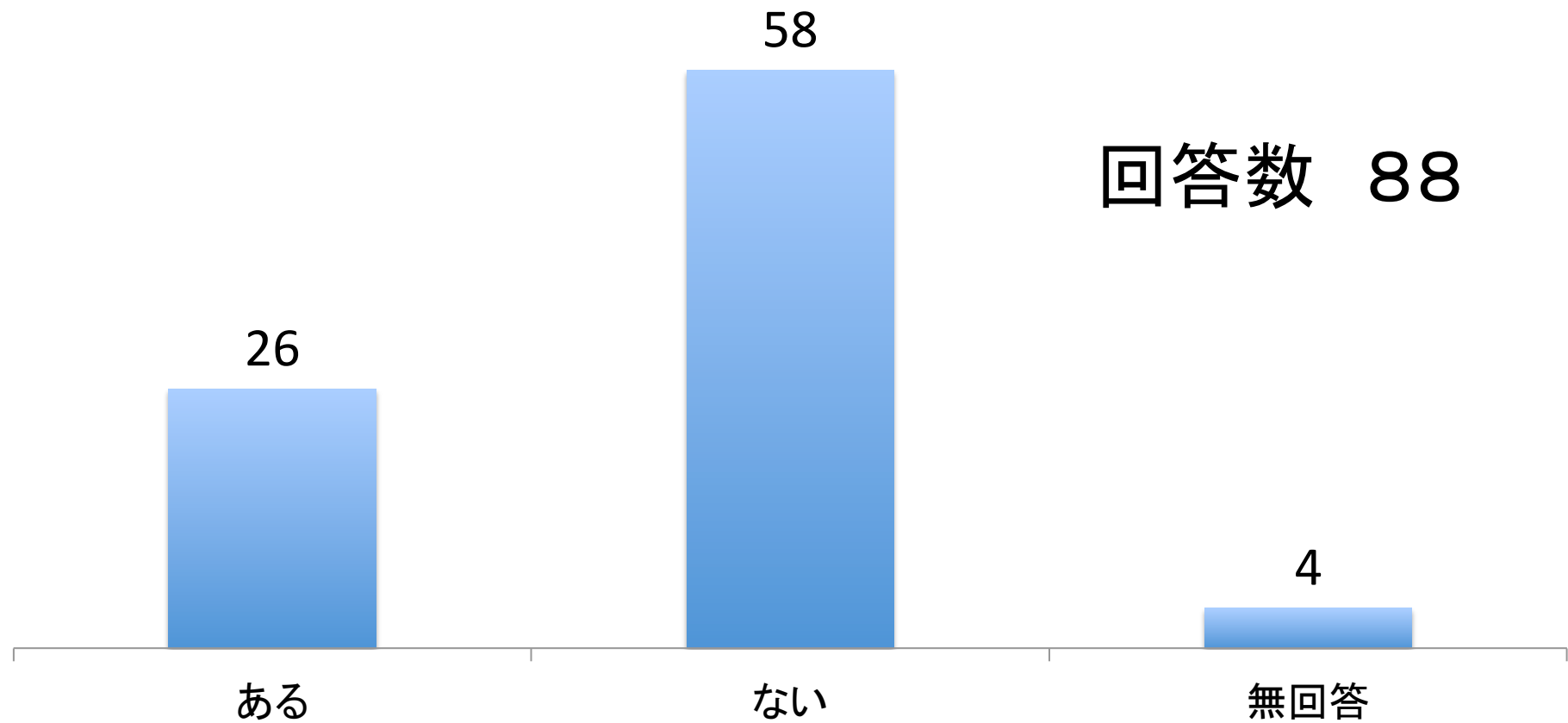
「経営縮小」「廃業」の時期



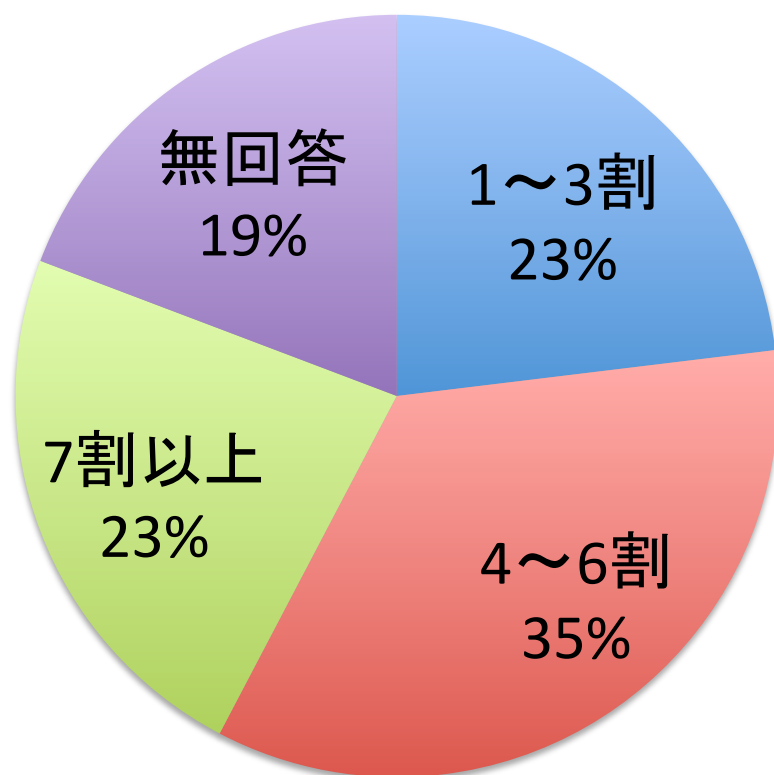
回答数 21

約6割が、10年以内に「経営縮小」、あるいは「廃業」

事業所収入以外の収入



その他収入「ある」: 店舗収入比率

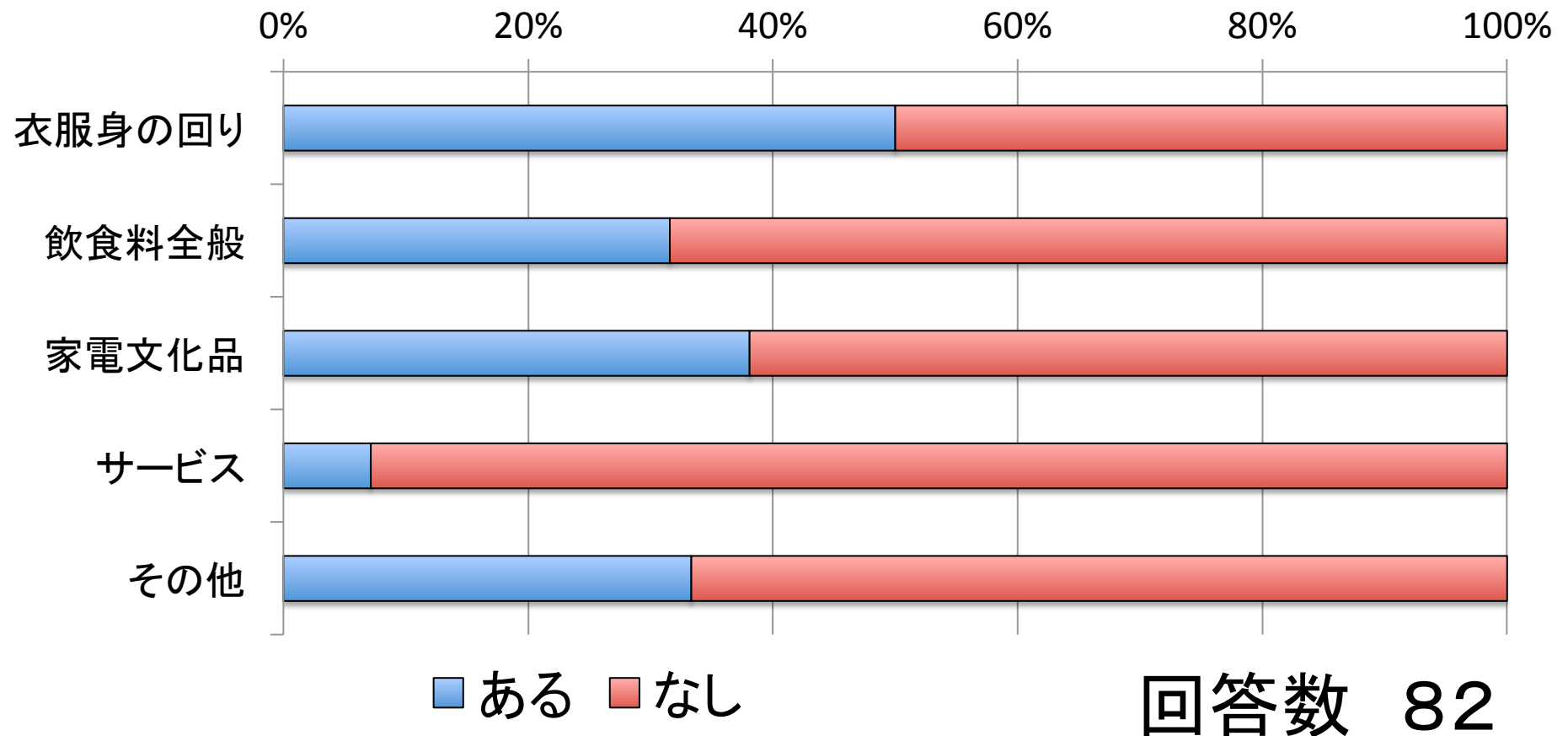


その他収入が
全体収入の
4割以上を占める者が
6割弱

回答数 26

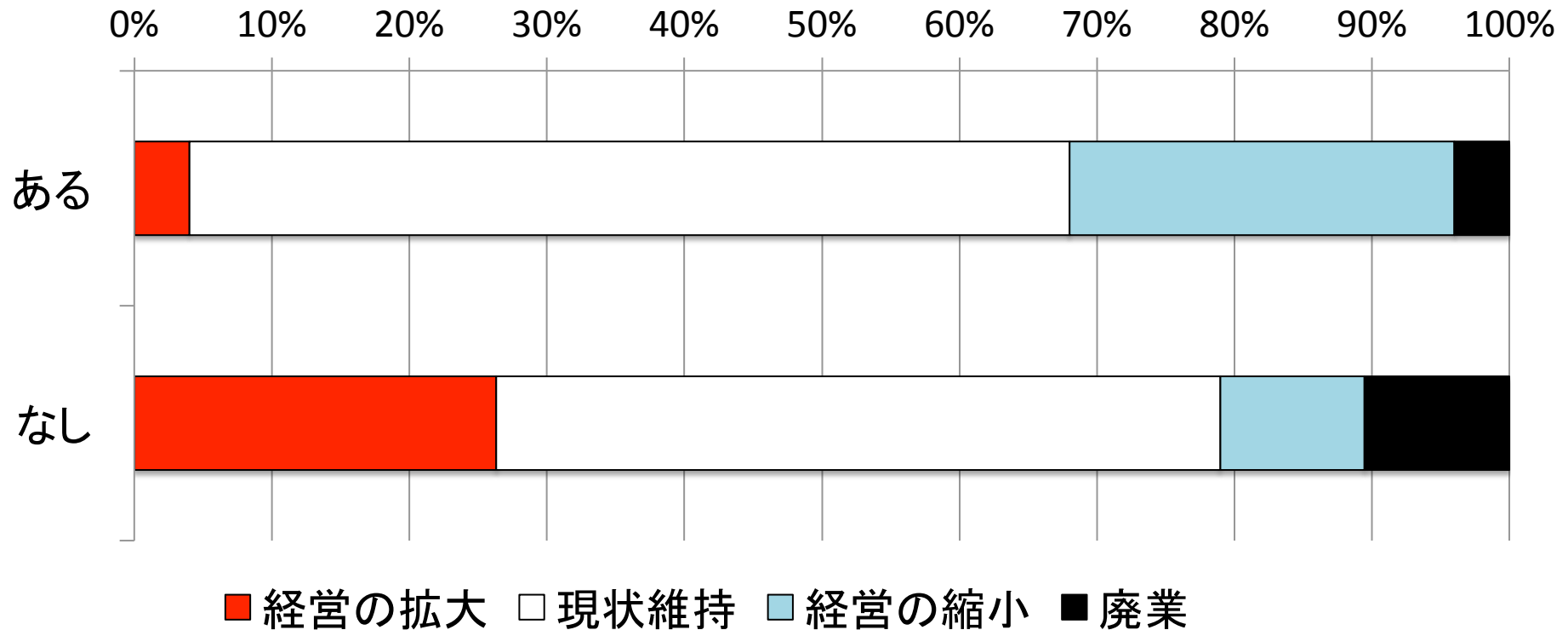
収入源: 不動産収入、年金・会社役員収入 等

その他収入・業種別



「衣服身の回り」の約半数が事業所収入以外の収入あり₇₇

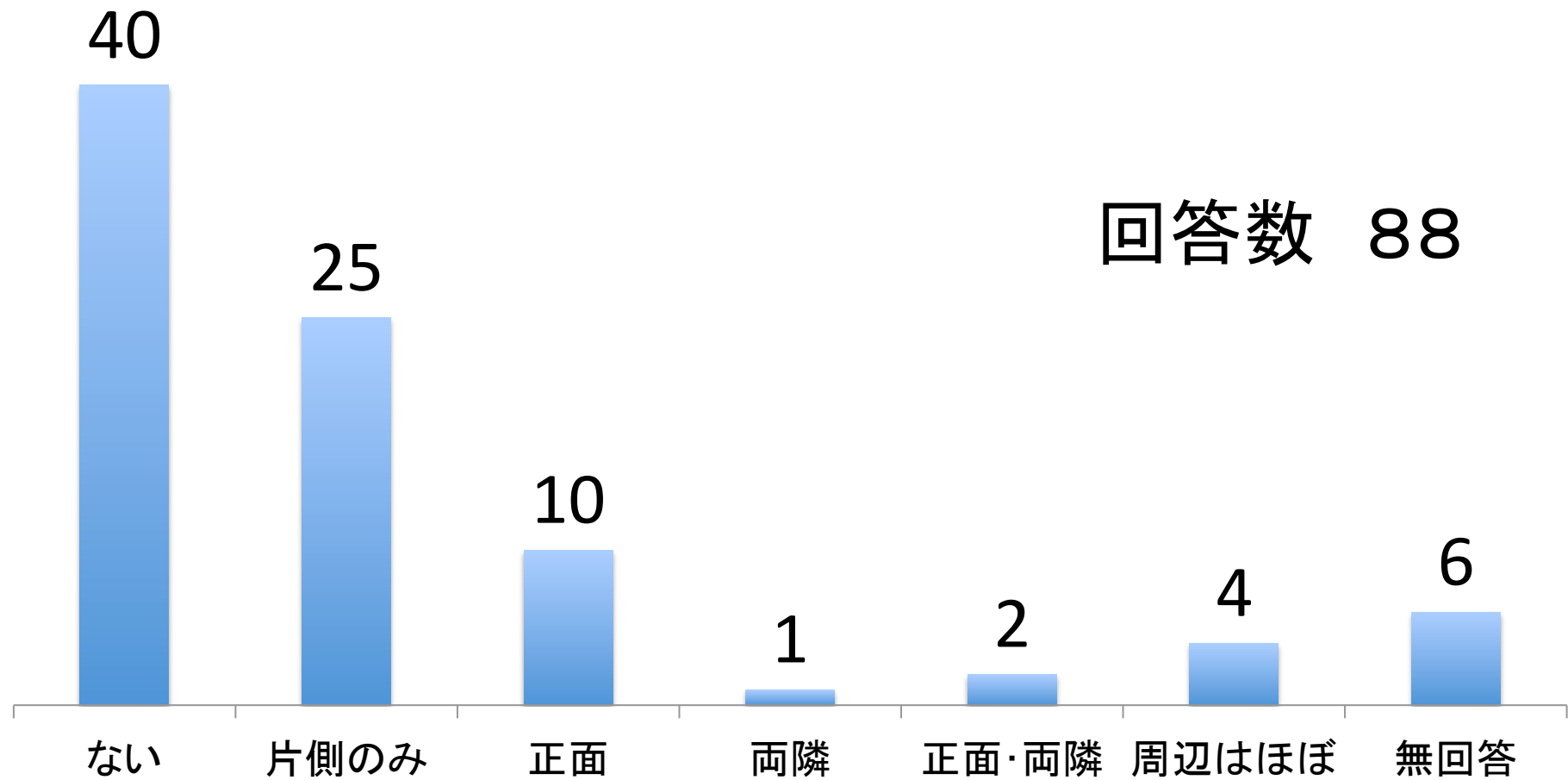
その他収入・経営の方向性



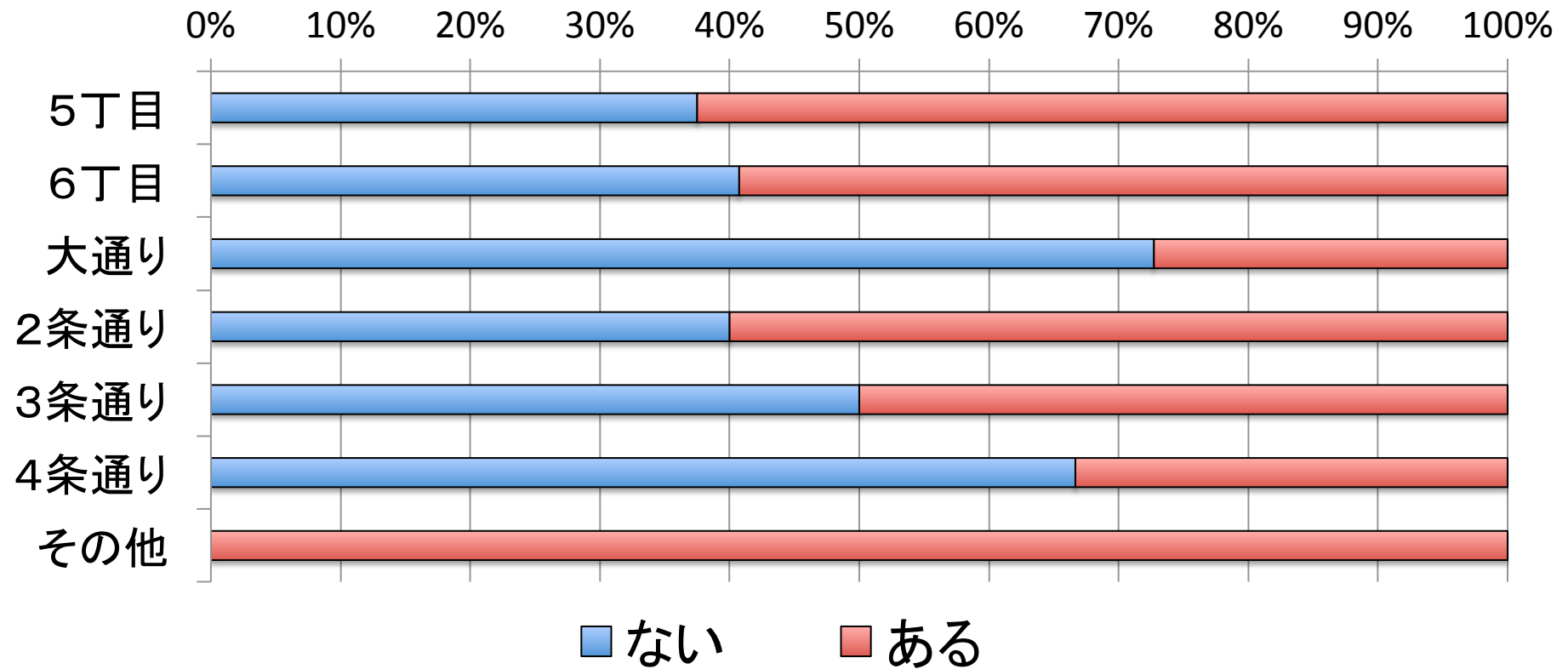
事業所収入以外の収入のない方が
経営拡大意向が強い

回答数 82
78

自店周辺の空き店舗

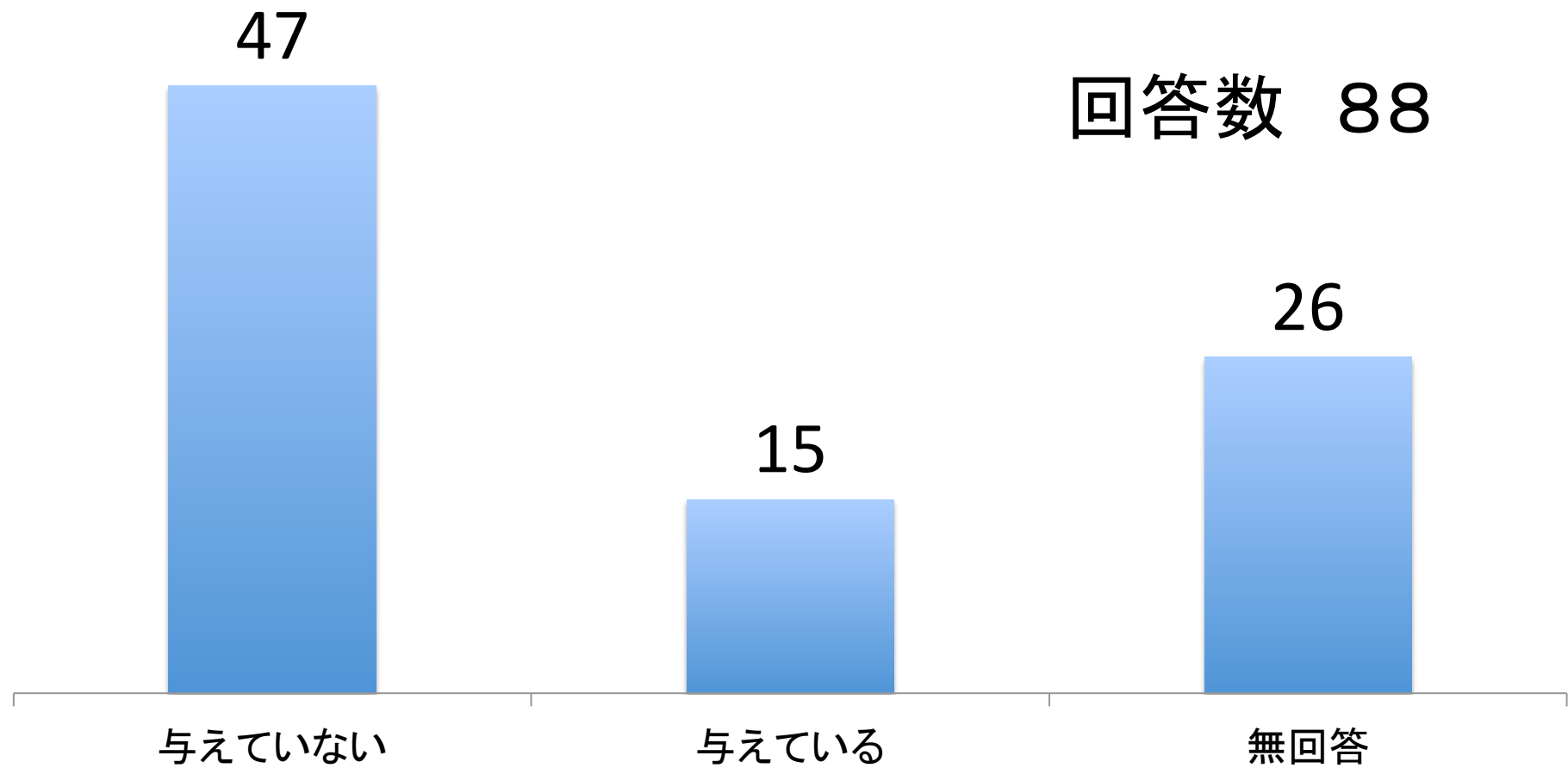


立地・空き店舗有無

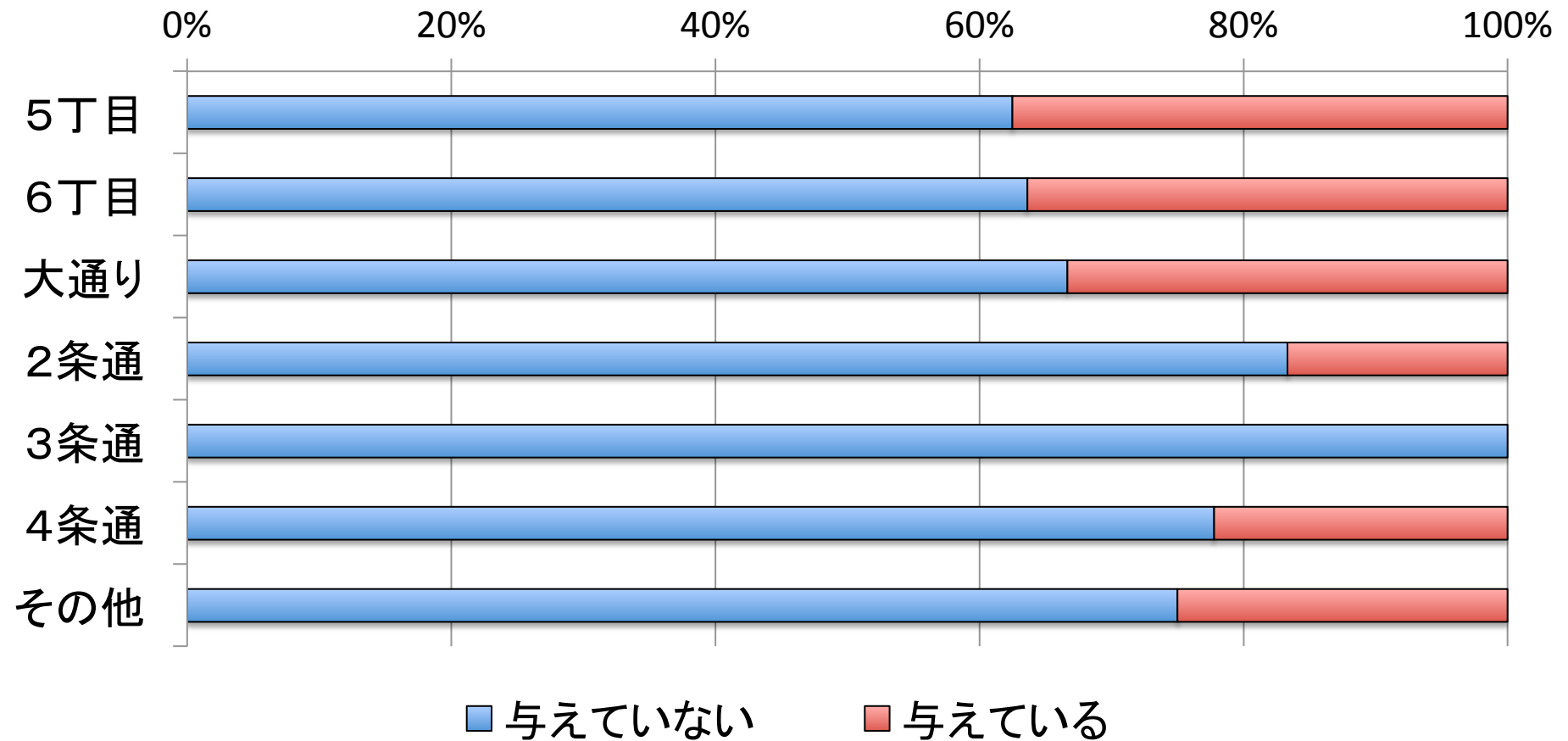


5丁目・6丁目・2条通りに空き店舗が多い

空き店舗の経営への影響（主観的評価）

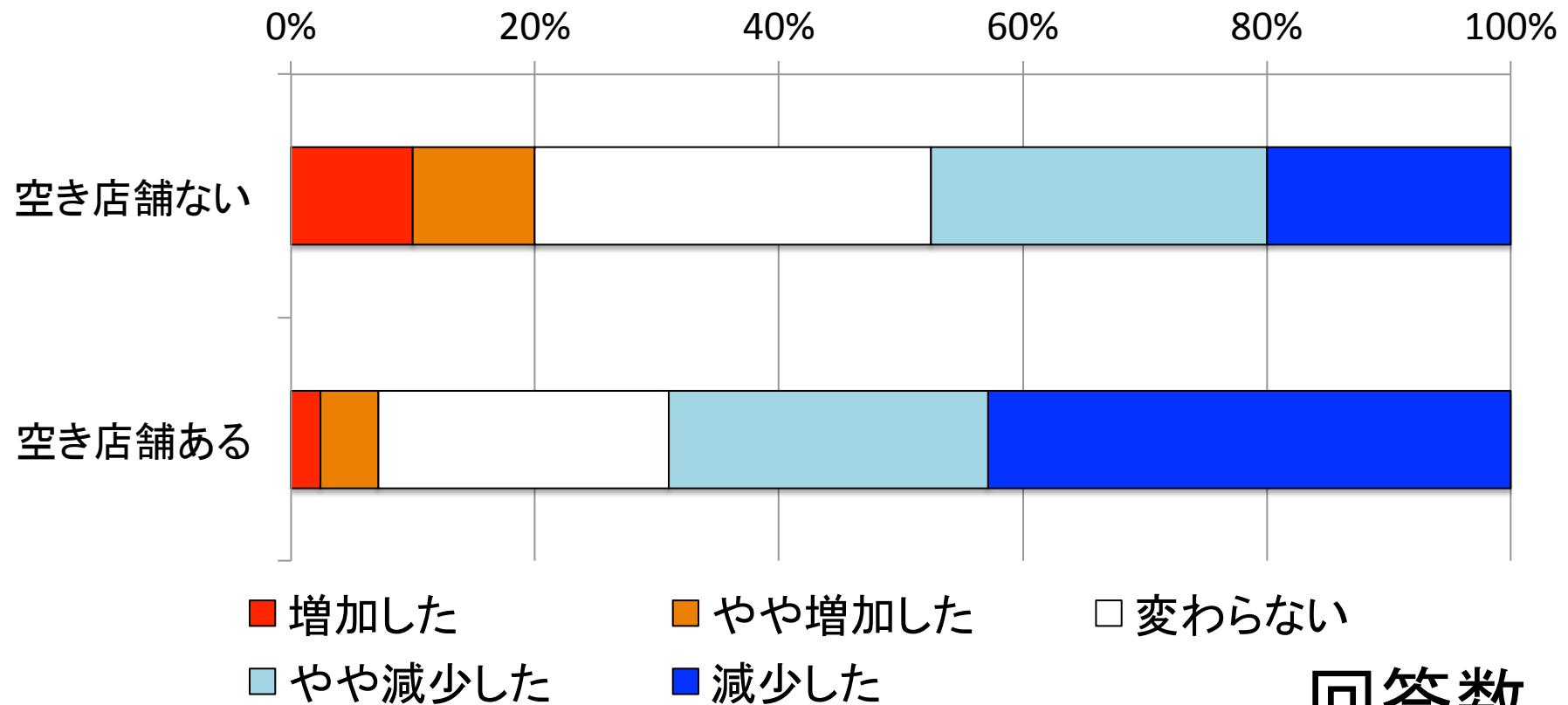


立地・空き店舗の経営影響



回答数 67
82

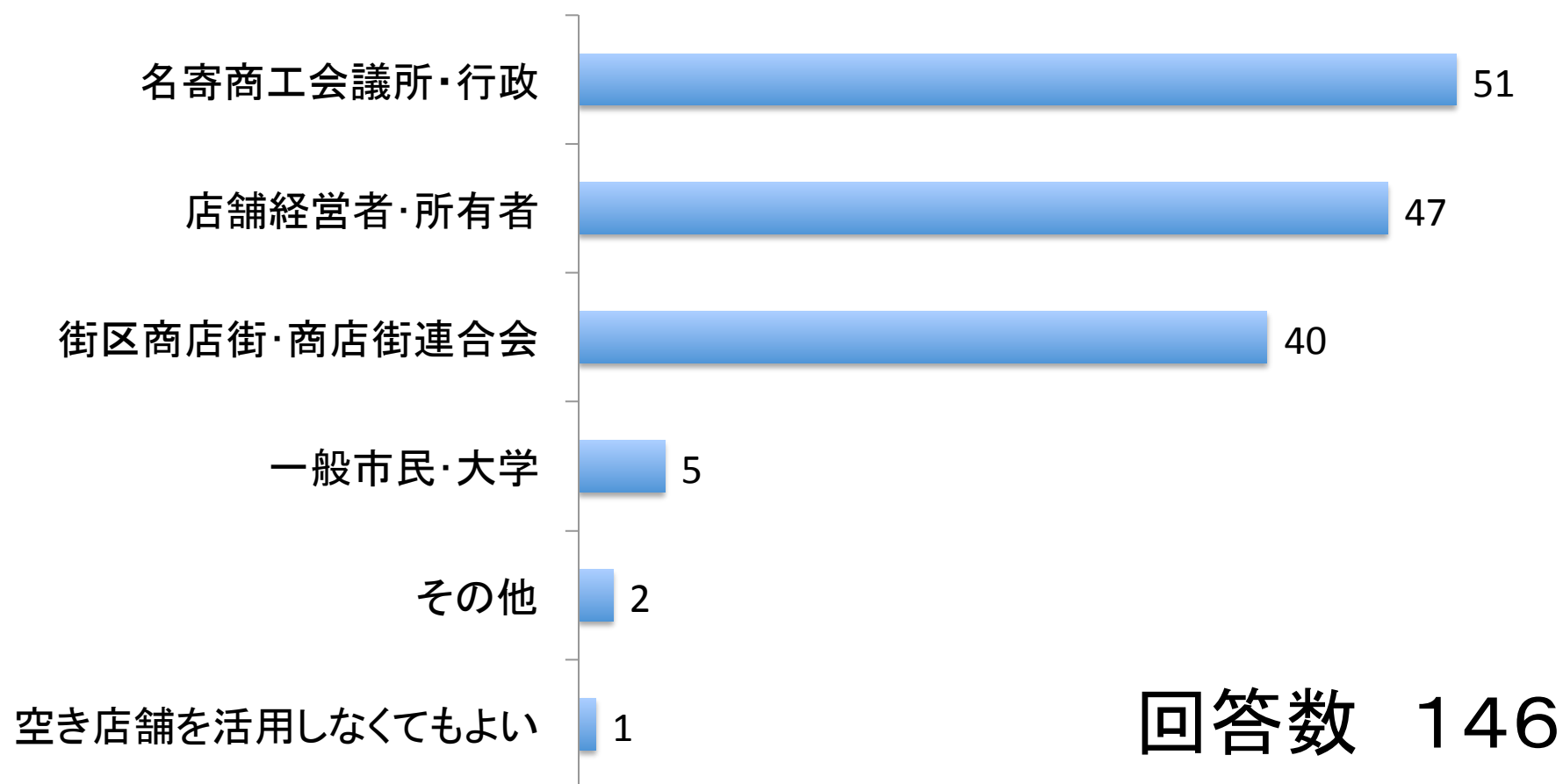
売上状況・空き店舗有無



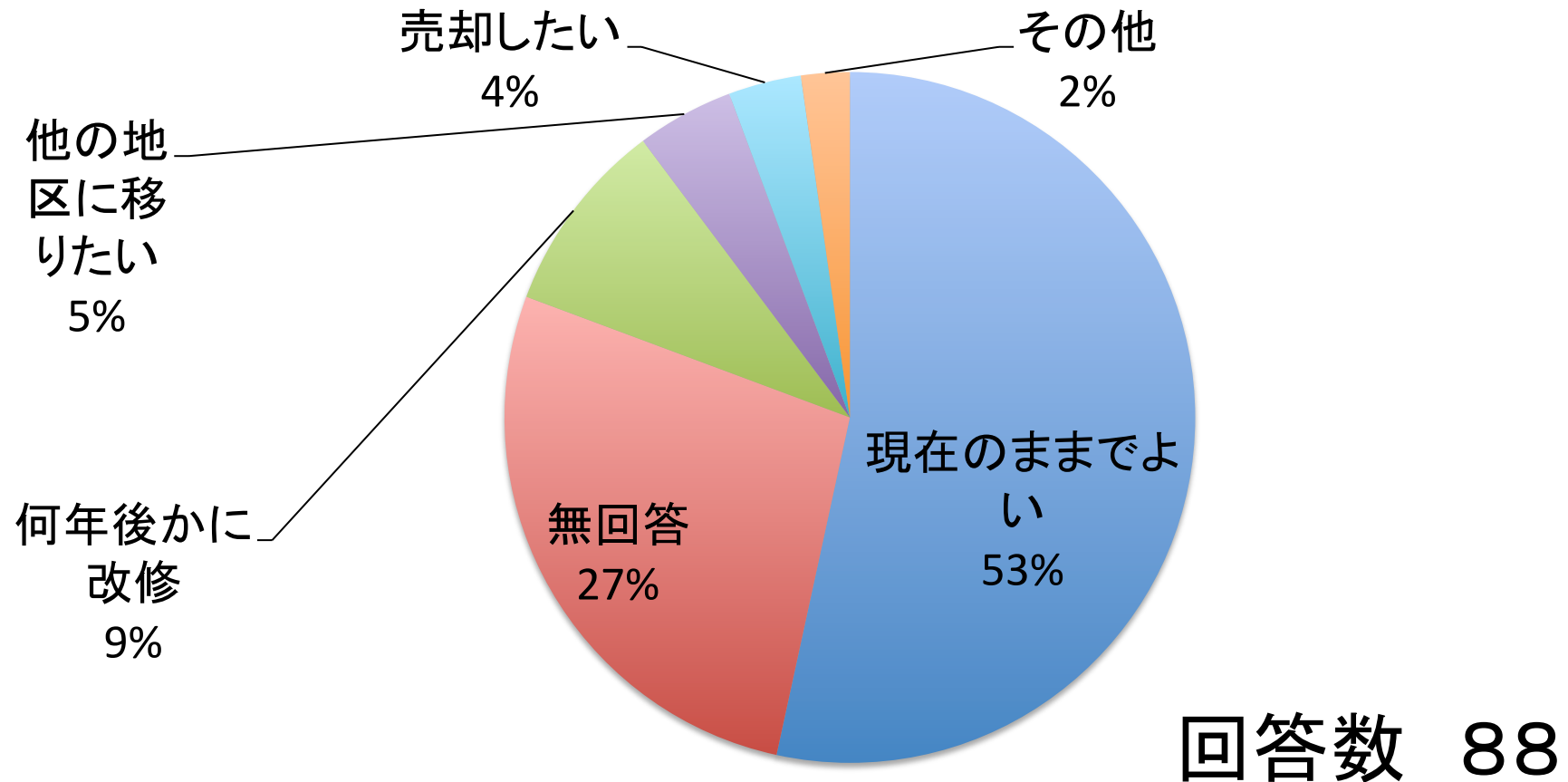
回答数 82

主観的評価とは異なり、空き店舗の存在と売上状況との関係はあると思われる

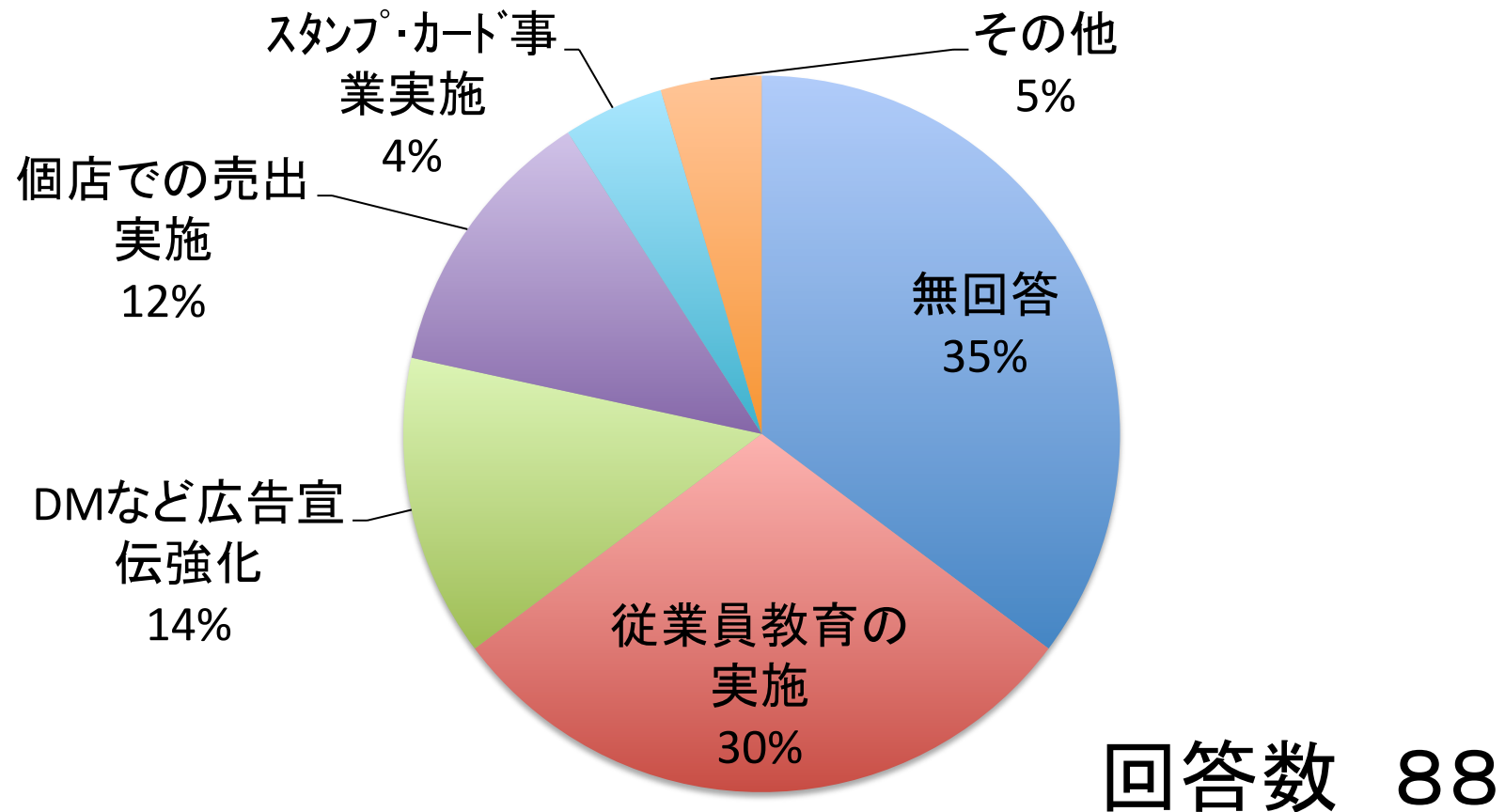
空き店舗活用で努力すべき主体 (複数回答)



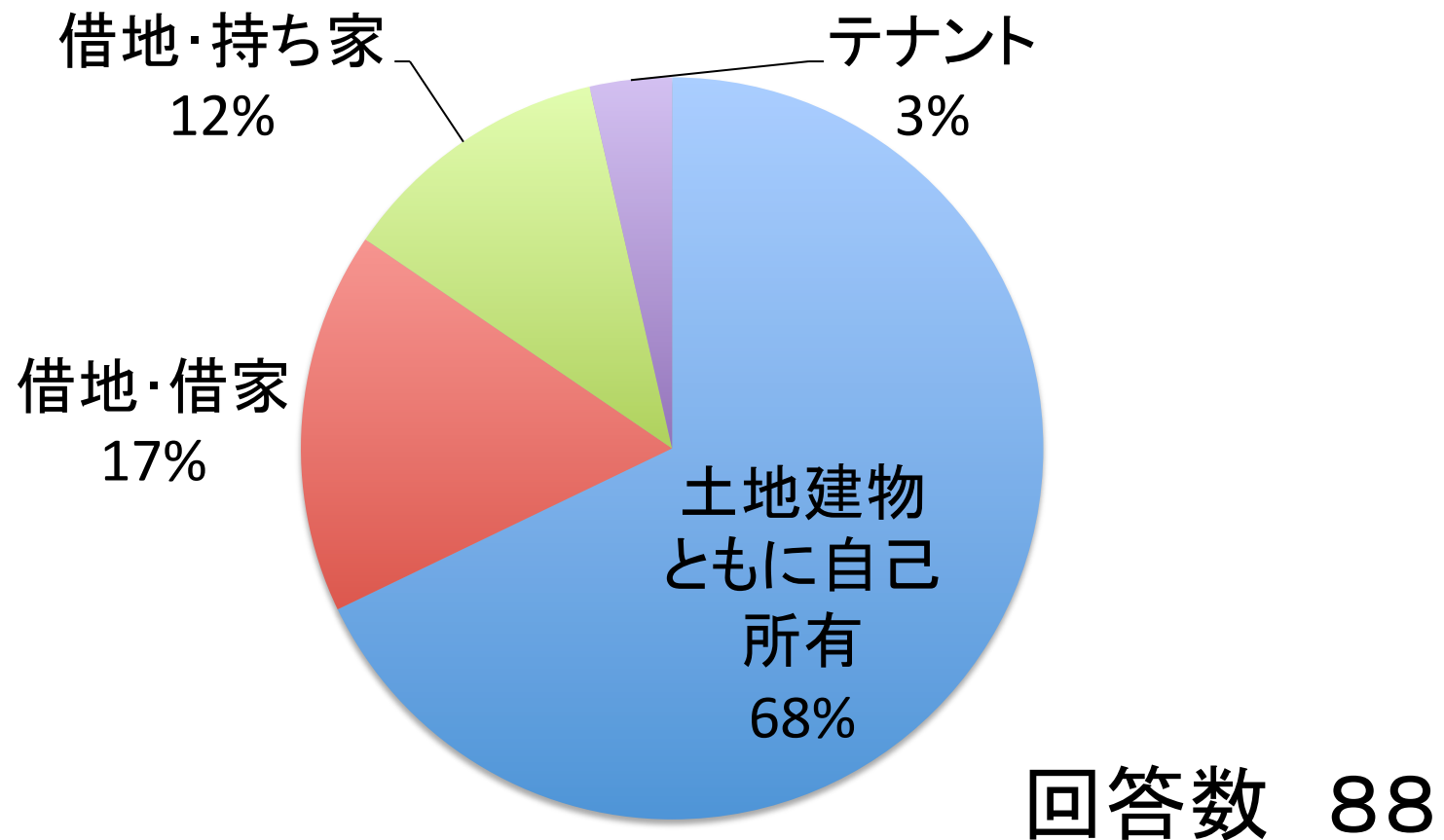
今後の構想【ハード】



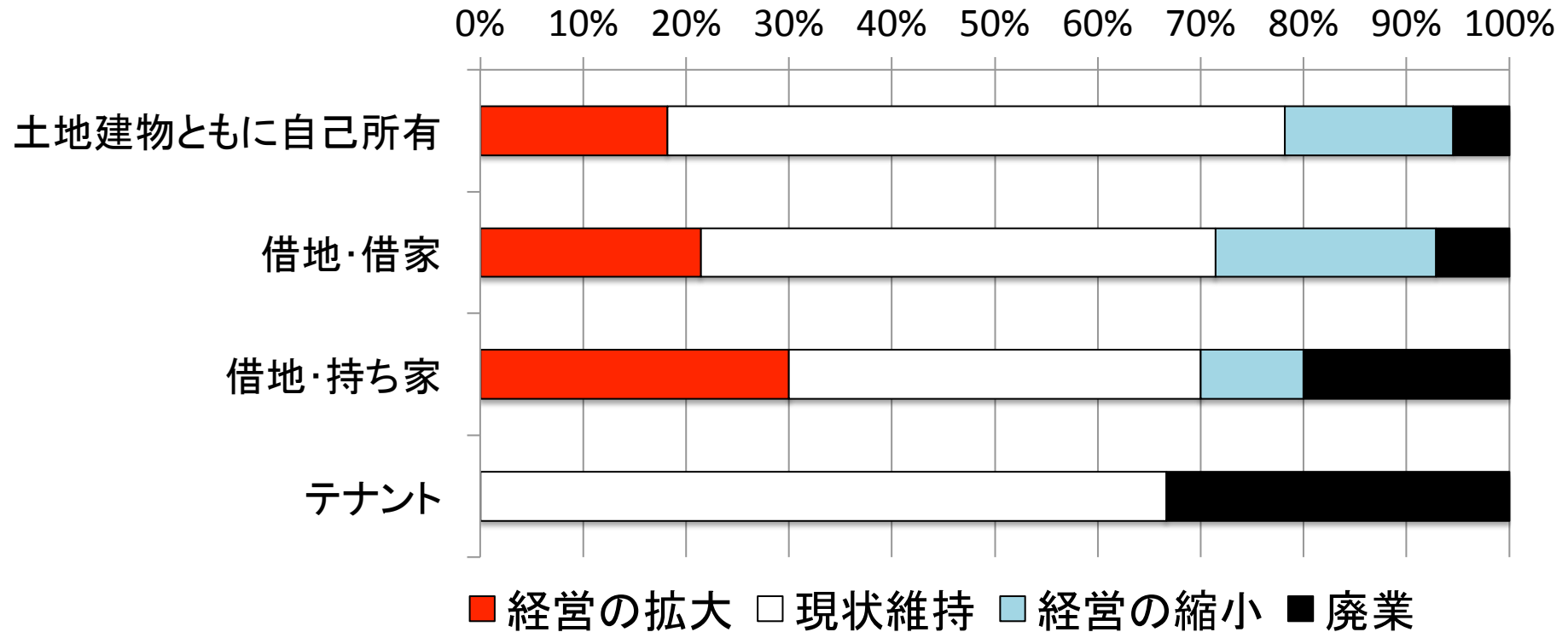
今後の構想【ソフト】



店舗所有形態



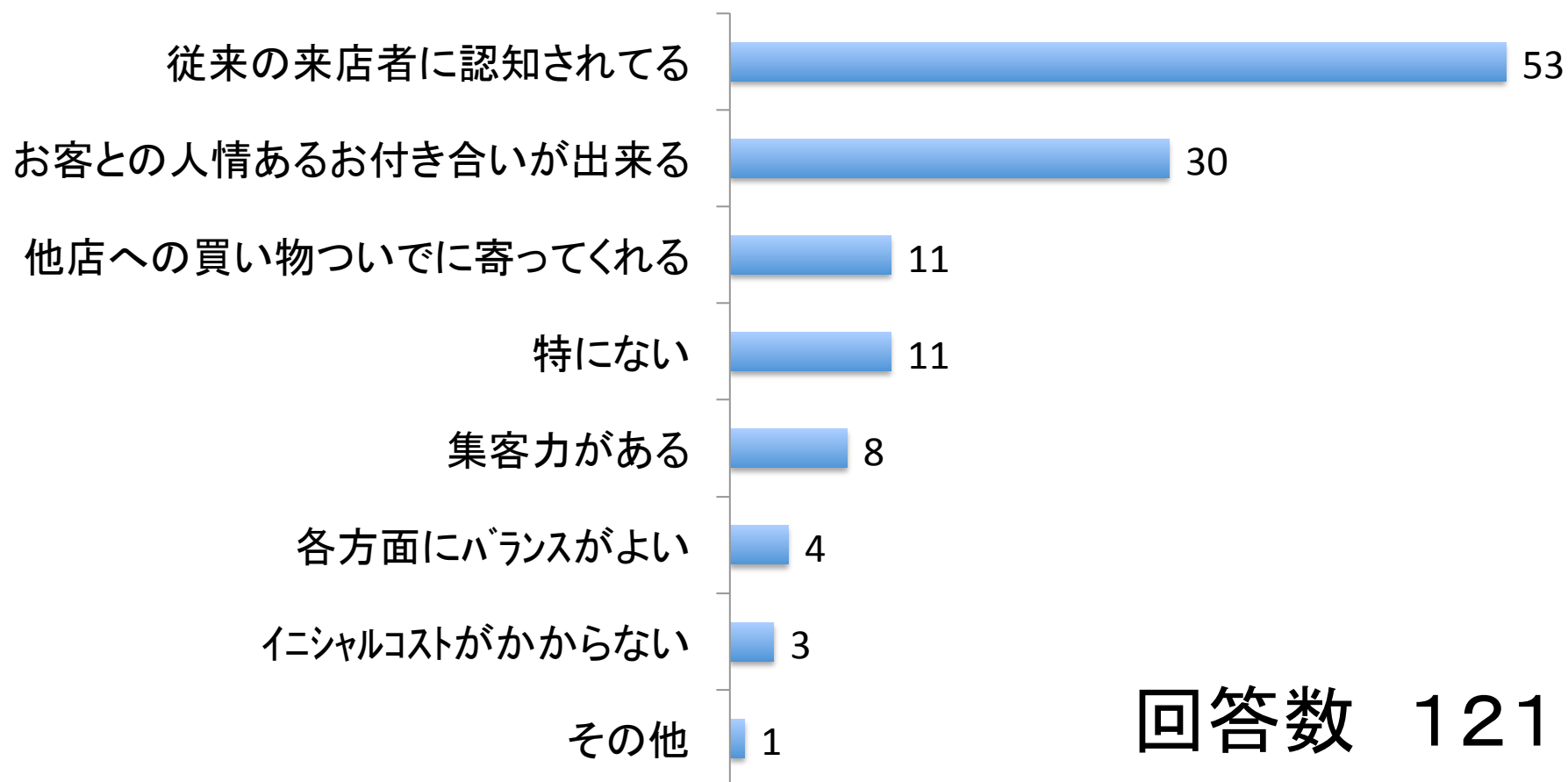
店舗所有形態・方向性



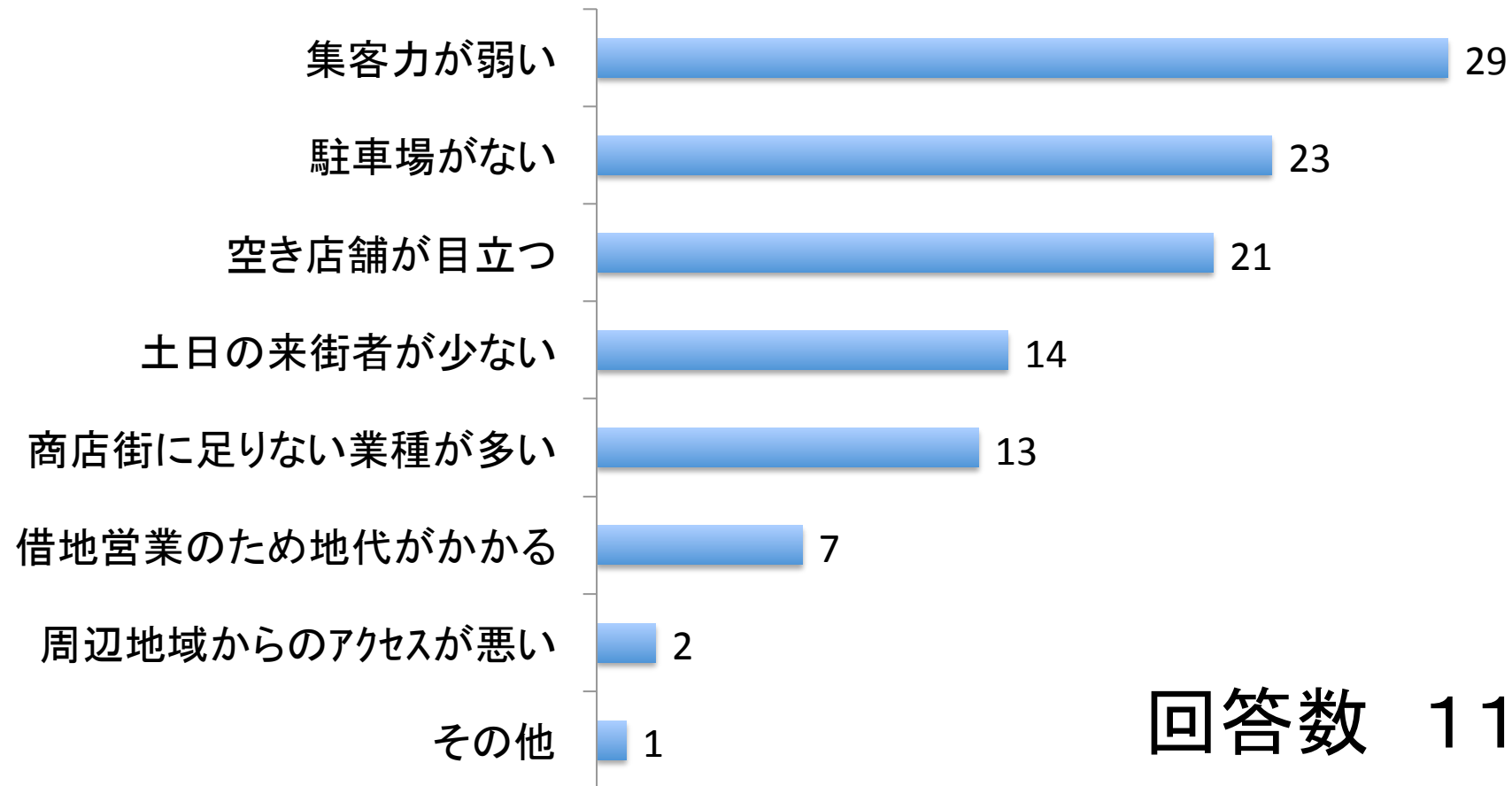
回答数 82

「借地」の方がやや経営縮小・廃業傾向が強い

商店街のメリット(複数回答)

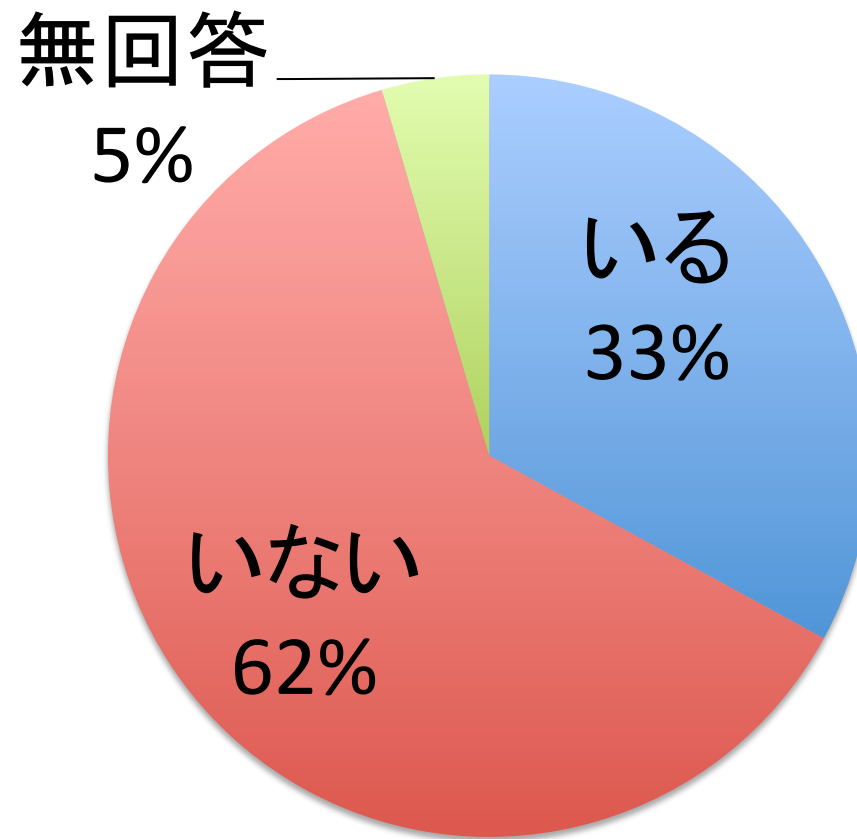


商店街のデメリット(複数回答)



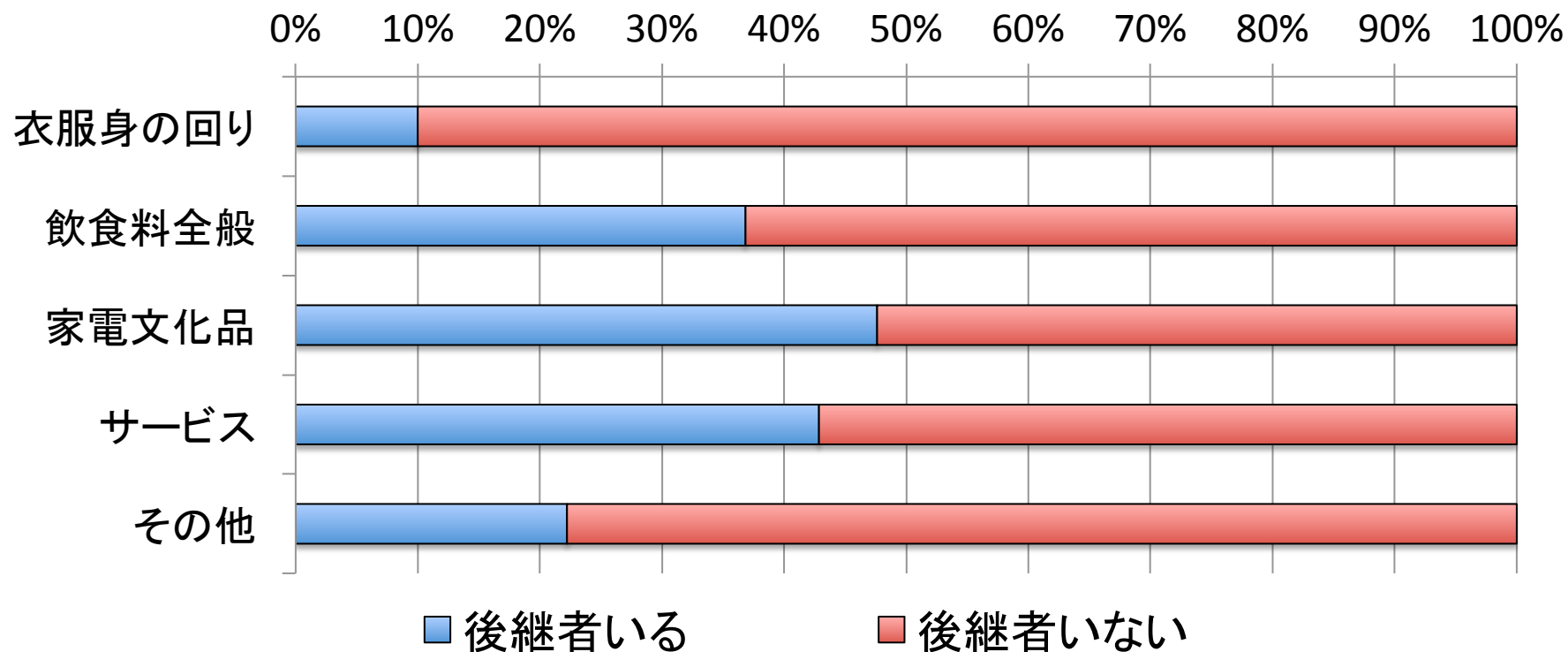
回答数 110

後継者の有無



回答数 88

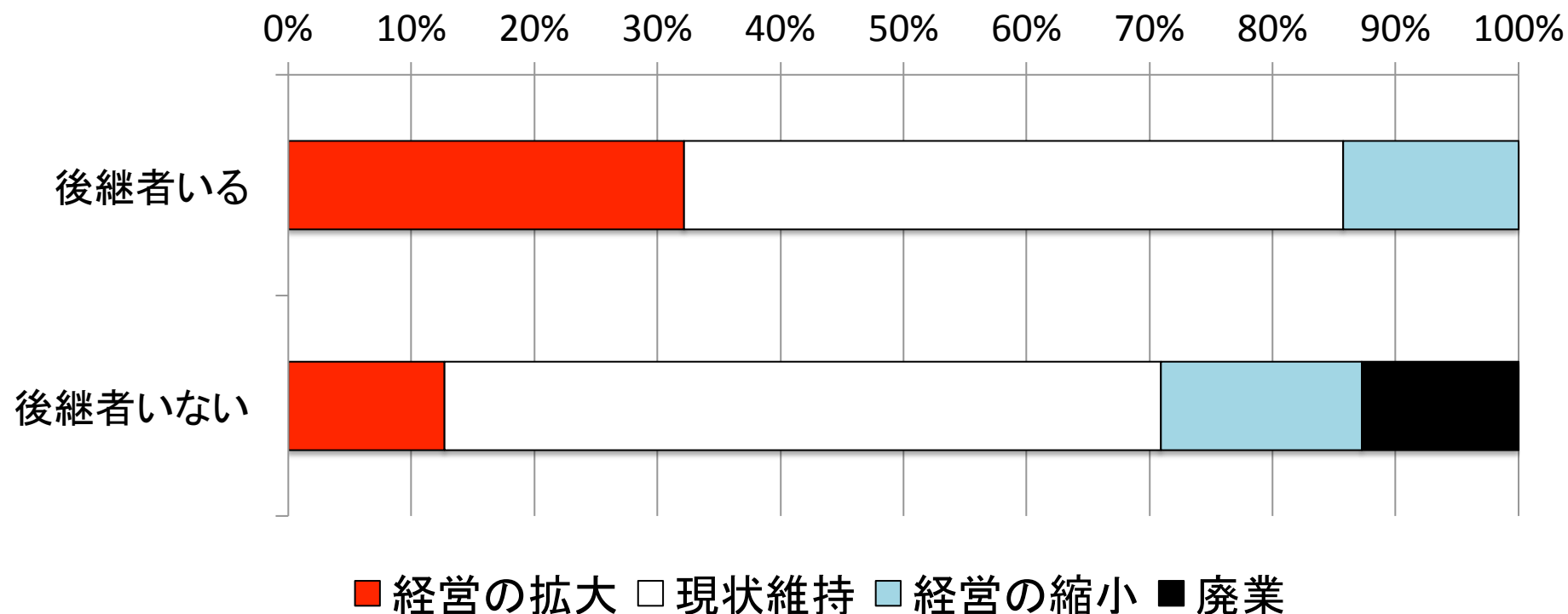
後継者有無・業種



回答数 82

「衣服身の回り」で後継者なしが多く、
「家電文化品」「サービス」「飲食料全般」で後継者が多い

後継者有無・方向性

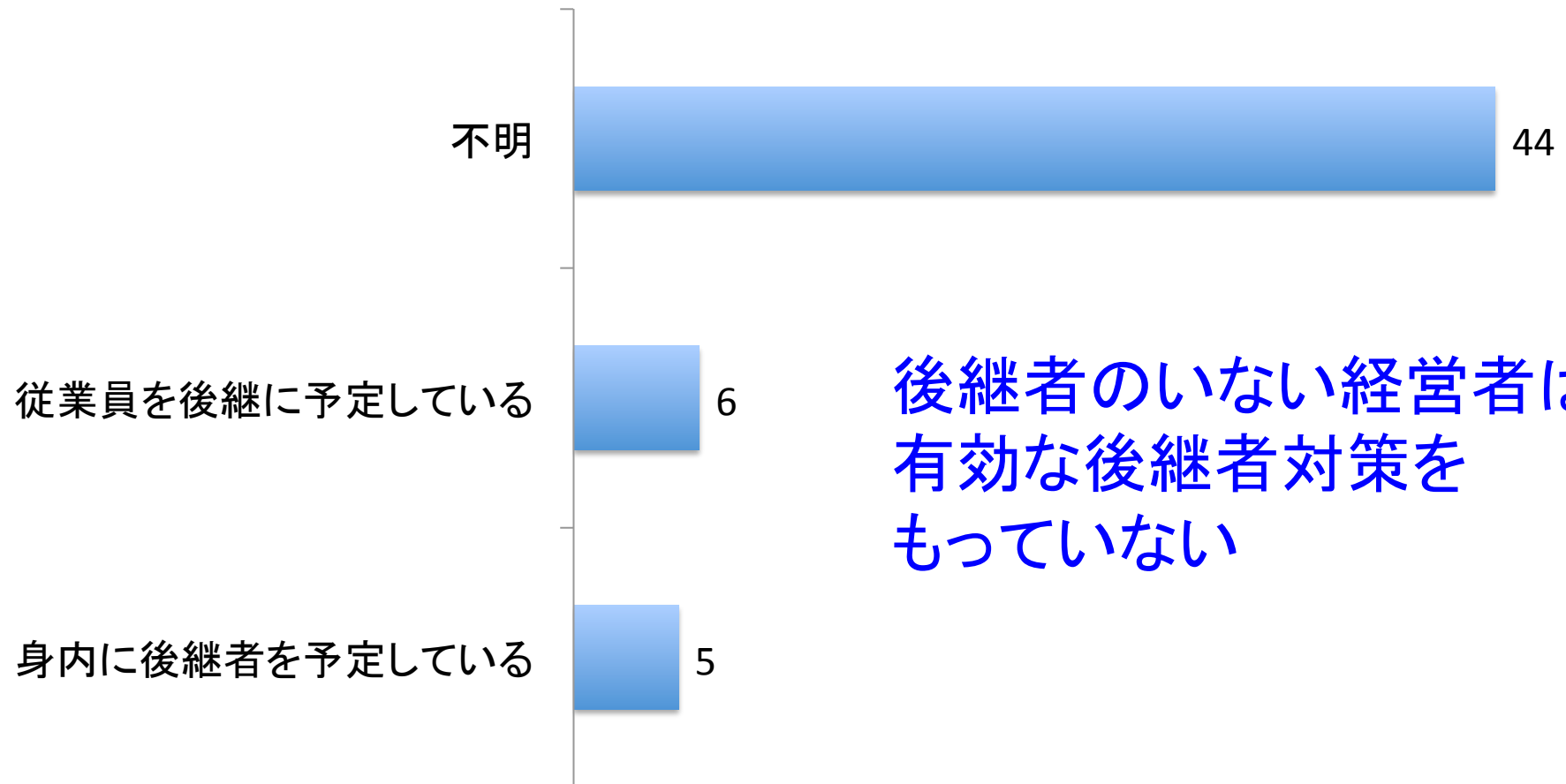


回答数 83

後継者のいる経営者の方が経営拡大意向が強い
廃業を考えているのは後継者のいない経営者のみ

93

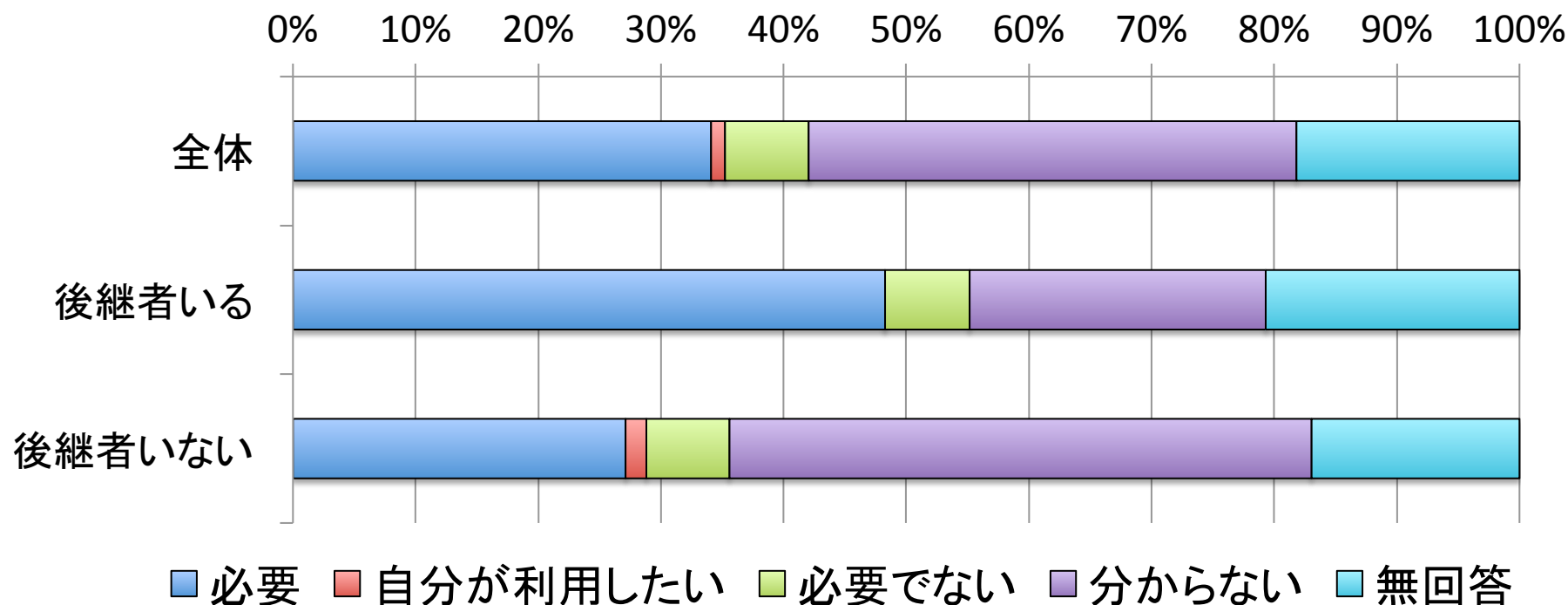
後継者「いない」層の対策



後継者のいない経営者は
有効な後継者対策を
もっていない

回答数 55
94

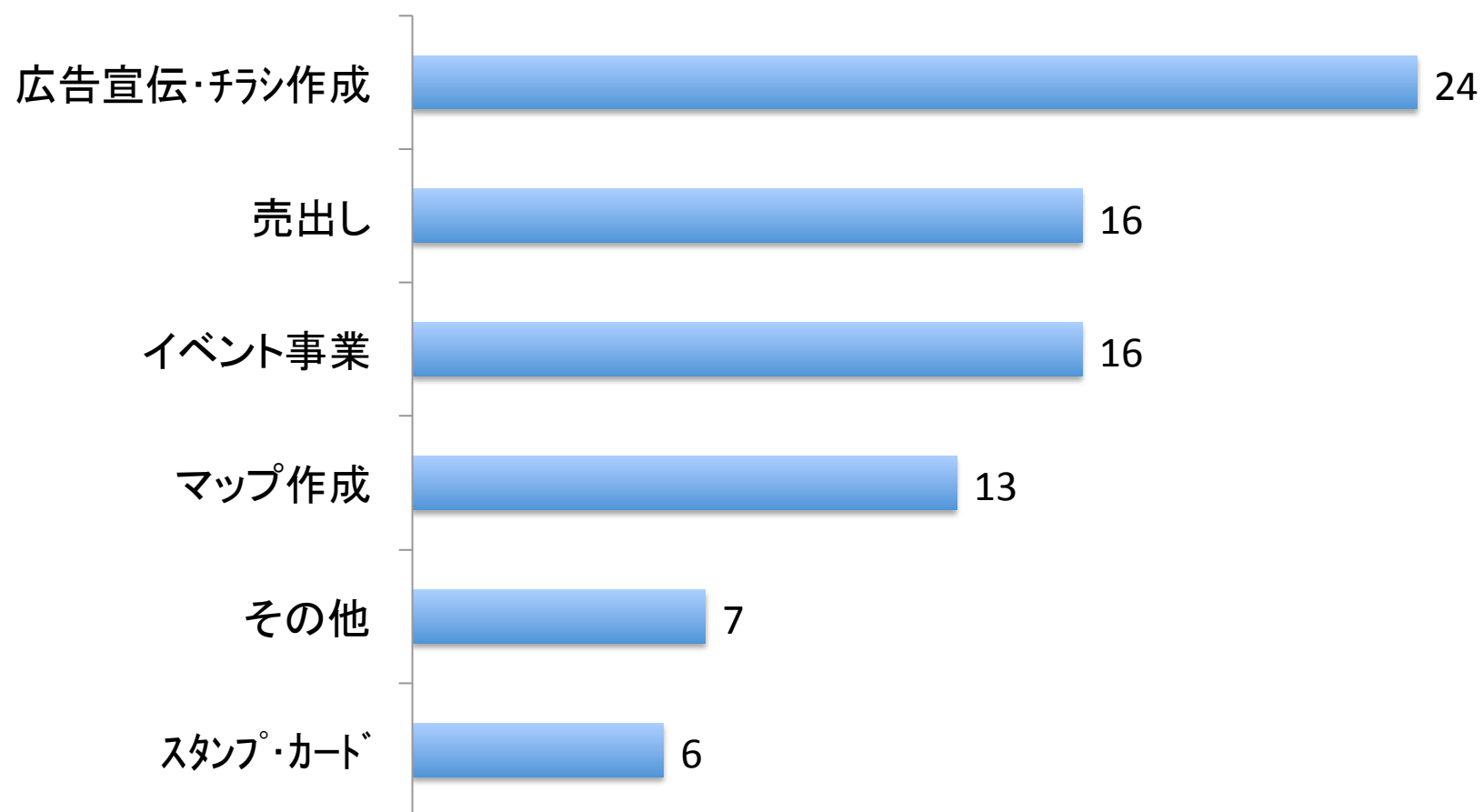
農業と同様の後継者対策 (公的機関によるマッチング事業)



回答数 88

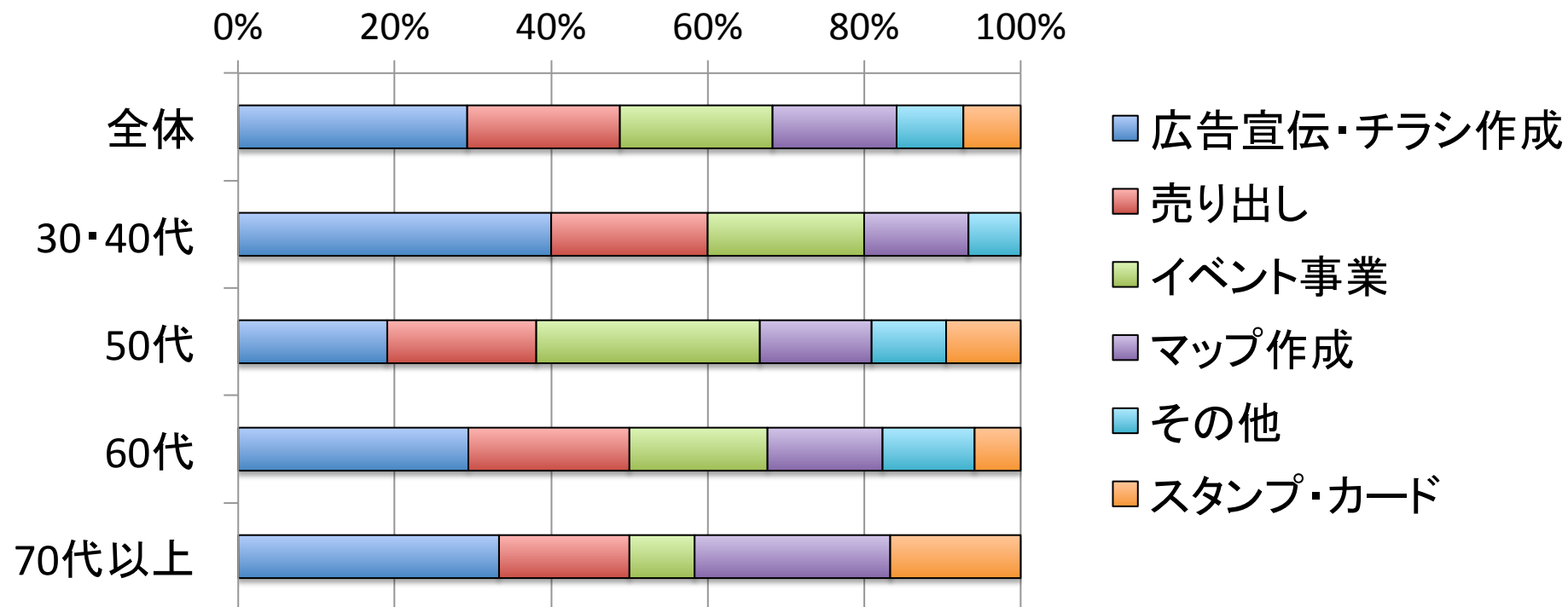
後継者のいる経営者の方が
マッチングによる後継者対策事業に積極的

必要な商店街共同事業（複数回答）



回答数 82
96

必要な商店街共同事業（年齢別）

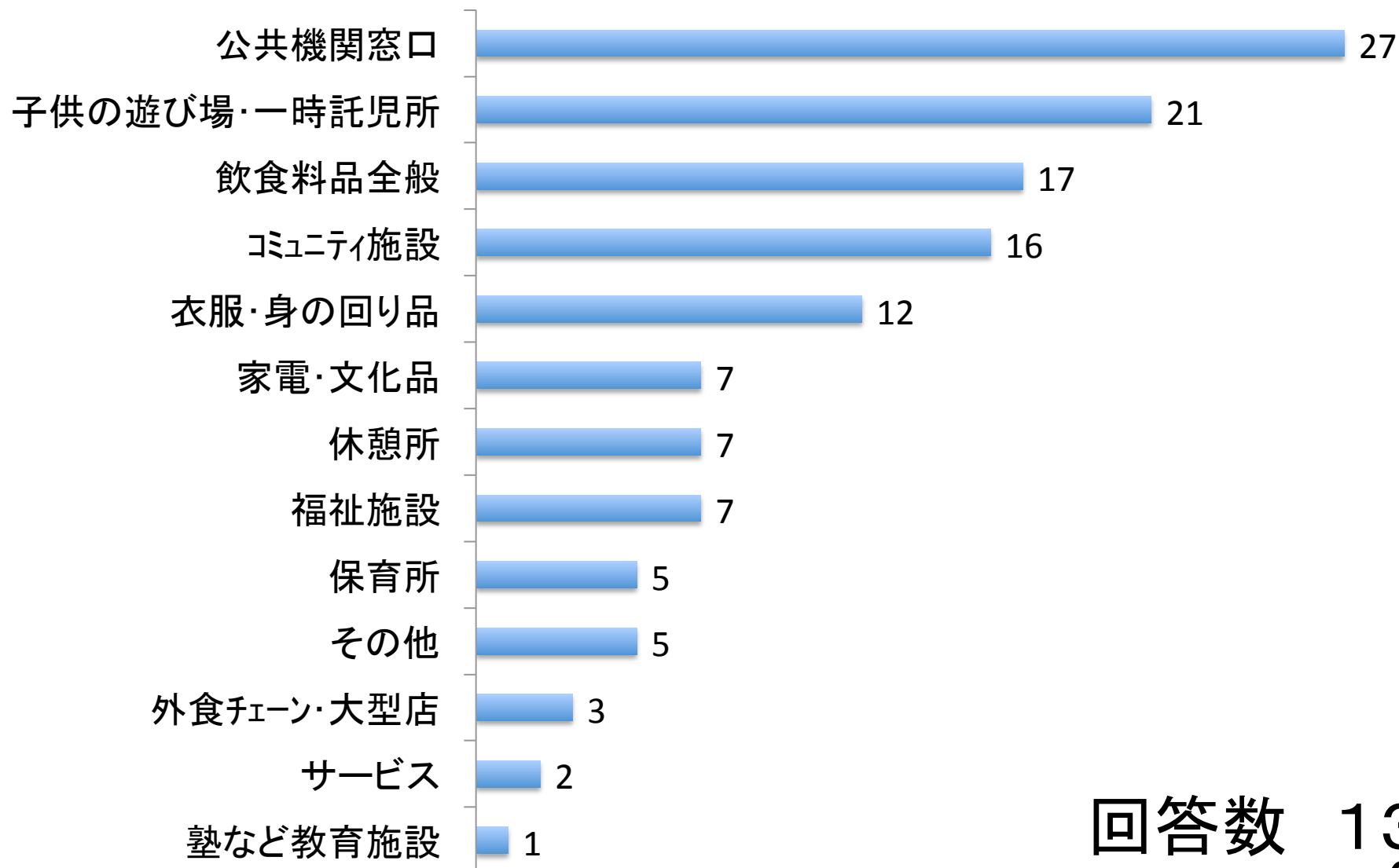


30・40代、60代、70代以上で広告宣伝が多い

50代はイベント事業が最も多い

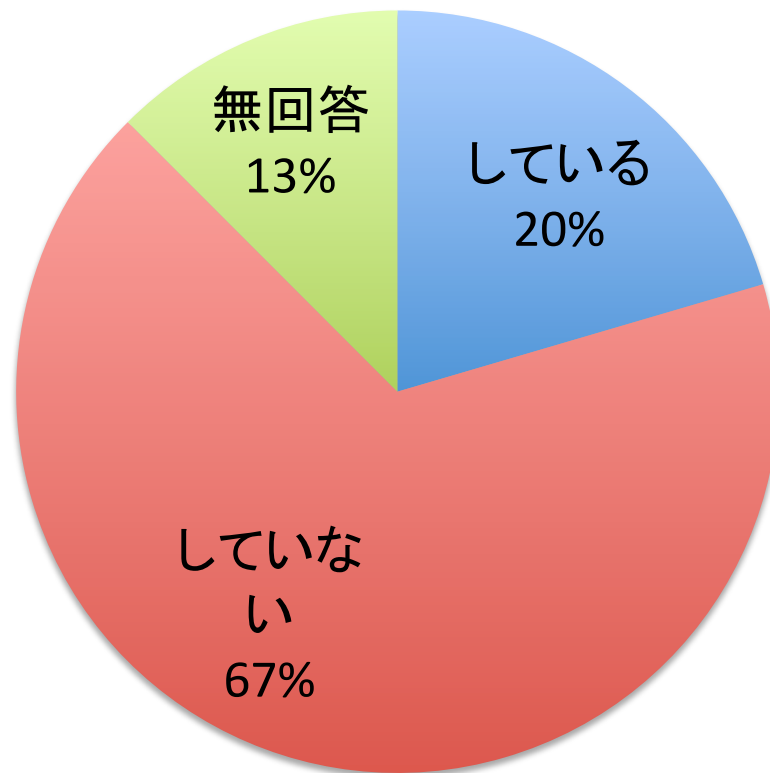
70代以上はマップ作成が他年齢層より多い

商店街に必要な業種・施設(複数回答)



回答数 130
98

子ども・子育て世代を意識した 配慮・工夫の有無



回答数: 88

具体例

- ・本の貸し出し
- ・子ども向けメニュー
- ・おまけ・プレゼント
- ・講習会
- ・バリアフリー化
- ・安心安全な商品
- ・接客の工夫 など

経営者動向調査結果のまとめ

- 売上が比較的に増加しているのは、業種で「飲食料全般」「サービス」、経営者年齢で50・60代
- 経営拡大意向の多いのは、業種で「飲食料全般」、経営者年齢で50代
- 経営縮小・廃業は2割、現状維持が5割
- 店舗周辺の空き店舗と売上状況には関連がある
- 後継者なしは62%、有効な後継者対策のない経営者が多い